

# 【エポック】 経営編

＜追加＞

高柳先生・高野さん関係

社内報資料アーカイブス

ビクター社内報

- ・大和（月刊誌）
- ・ビクター時報
- ・ビクターニュース

2015年（H27）9月

資料提供：西郷 治男

編集：清水 邦昭

## < 社内報アーカイブス・エポック関連 経営編 >

### ～ 今回の企画の背景 ～

社内報アーカイブスの最後となる9月は「エポック関連・経営編」としたものの、その対象は広範囲にわたり、選出候補記事も多かったため、初回（7月）高柳先生関連や前回（8月）技術開発・新商品関連の時よりも大変な作業でした。

改めて所有している社内報（昭和47年入社～平成14年早期退職まで）をすべて見直していくと、高柳先生関連の記事で数件の漏れがあることが分かりました。またミスターVHS・高野さん関連の記事も多数に及ぶため、今回の経営編で「高野さん関連と高柳先生関連」を別途【追加】として掲載させていただきます。

経営編については、技術開発・新商品関連の時よりも判断基準が非常に難しいこと、また対象範囲も技術・商品関係以外のエポックすべてとなるため、最初にピックアップした記事数は何と50件を超えてしまいました。そこで、記事リスト作製段階でフォーマット上の制約から全体で30件と決め、全社的に重要と思われるものを吟味しました。最終的に絞り込む条件としては、経営トップ人事、大きな組織変更、全社的な運動・施策、風土改革、PR施設等を優先し、国内及び海外の工場・事業所・現地法人、関連会社、ソフト・システム・部品・メディア関係に関するものは一部のみとさせていただきました。結果としては、時代毎のバランスも考慮したものの多少の偏りやバラつきも出てしまいました。

以上の背景や経緯をご理解いただき、これまで以上に私（西郷）の独断と偏見で総数30件とさせていただいたことを何卒ご了解ください。

今回、初めに選出した約50件の記事から最後は30件に絞り込みましたが、その中でも捨て難い記事だったのは、百瀬会長や徳光副社長の厳しくも説得力のあるお話、松野社長が取り組まれた社内風土改革でした。また経営関連とは異なりますが、男子バレーボール部や岩井工場・女子ハンドボール部の大活躍も企業PRという面で取り上げました。他にも残念ながらいくつかの記事を切り捨ててしまったことが本当に心残りです。逆に何としても入れたかったのは29番目の「麻倉怜士先生の講演」で、紙面スペースがなく小さな記事ですが、本音は1面トップにしたかったので、勝手ながら私の独断で入れさせていただきました。

限られたスペースですが、今回の記事「経営編 30件」を振り返って見ていただければ、昭和時代の途中からですが日本ビクターの歩みが経営の縮図として懐かしく思い出されるのではないのでしょうか。

2015年（H27）9月 西郷 治男



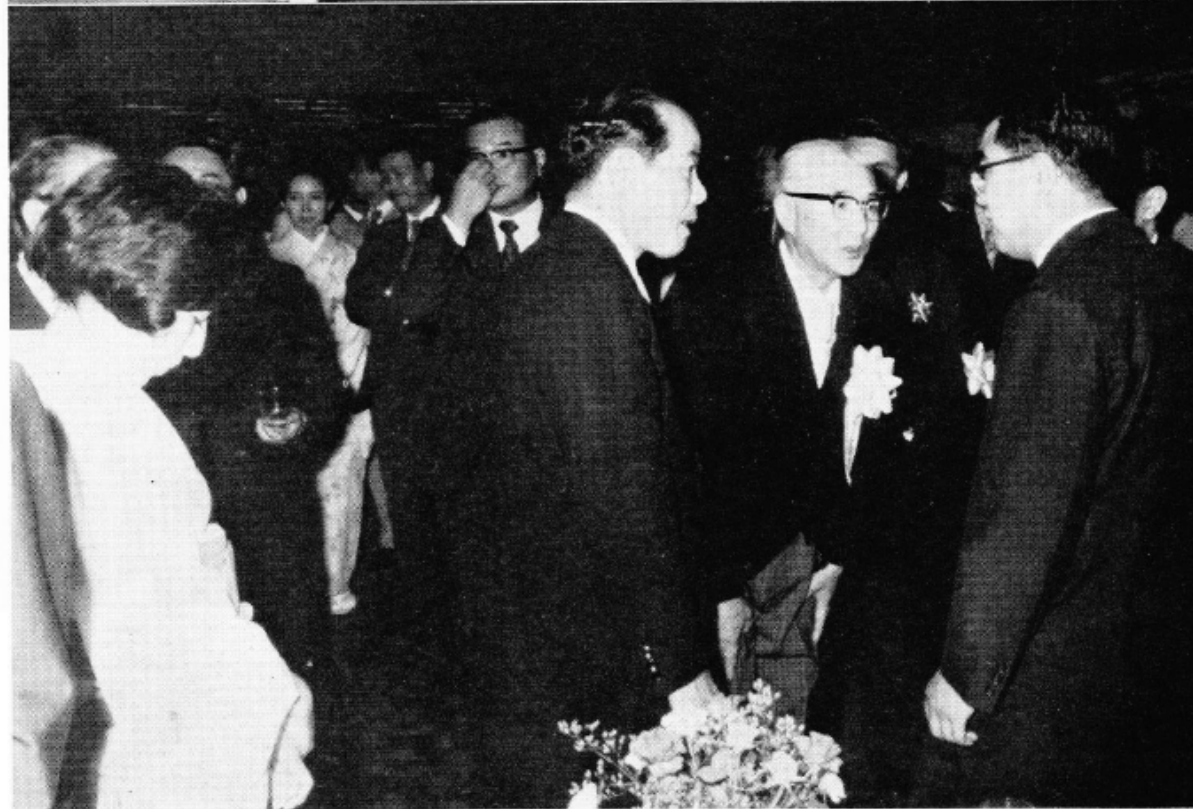
NO.	西暦	年 月 日	発行NO.	面(頁)	タイトル	記 事 内 容
1	1972	大和 S47.8	220	グラビア	盛大だった創立披露、ビクター音楽産業株式会社	昭47.6ビクター音産創立披露パーティー、今は見られないニッパ犬の氷彫刻
2	1973	S48. 6. 1	106	5	インフォメーションセンター、迅速回答15分以内、お客様第一主義さらに前進	消費者志向の一環で本社5階ショールームに設置、6/1から業務開始
3	1973	S48. 7.16	109	3	昭和47年度改善提案1人当たり日本一、全員のヤル気です	HR協会調査で1人当たり件数全国第1位、全従業員の積極的意欲の表れ
4	1973	S48.11. 1	116	1	経営陣に大幅な異動、新社長に松野氏、徳光常務は副社長に内定	10/26、新社長は松下電器常務・松野幸吉氏、現経営陣は取締役役に内定
5	1973	S48.12. 1	118	1	経営新体制スタート、大和一致で新風まき起こそう	11/19取締役会で松野社長と徳光副社長の抱負、北野前社長退任挨拶
6	1974	S49. 4.11	127	1	音楽は心のシャワー、最新技術を集めてミュージックプラザ(VMP)	高田馬場に開設、新タイプショールーム概要、オールビクターの総力結集(7月完成)
7	1976	S51. 3.16	178	1	販売体制さらに一歩進む、独立会社9か所に設立	昭50.10月の北海道ビクター、九州ビクターに続き、9か所の営業所が独社移行
8	1976	S51.12. 1	194	1	デコマス 新ビクターマークを採用、企業イメージの統一へ	創立50周年を機に昭52.4月から犬マークは周囲の○を取った新ロゴに変更
9	1977	S52. 3.16	200	4-5	50周年—施策いろいろ、記念論文、デコマス、社史、緑化計画、その他	52年度は50周年、形式より実質を重視した記念論文等の各施策を紹介
10	1977	S52. 4. 1	201	4-5	経営戦略のためのデザイン統合、デコマス実施、3年間ですべて切り替え	4/1から段階的实施、マニュアルで詳細規定、新ロゴ社名で新たなイメージ戦略
11	1977	S52. 9.16	211	1	はれて創立50周年、松野社長挨拶、松下相談役メッセージ	※記事ピックアップは懐かしい横浜文化体育館の式典の写真のため
12	1977	S52.11. 1	214	4-5	ビクタービデオセンターVIC はなやかにオープン、盛り沢山の催事 展即会	10/17、旧虎ノ門ショールームにVICがオープン、ビデオの面白さを知ってもらう
13	1978	S53. 8.12	231	4-5	がんばれ ヨコヨコ (松野社長提唱「ヨコヨコ運動」の事例紹介)	ビデオ; 全社の力、インテリア; デザイン部と連携、白黒テレビ; ラ録のノウハウ提供
14	1979	S54. 7. 1	251	1	松野会長、宍道社長、新体制スタート	松野会長は会社を支え、宍道社長は衆知経営、徳光副社長は取締役に
15	1981	S56. 3.16	287	1	拡大へ各部門がGO、生販それぞれ責任果たそう	各工場部の生産体制拡大状況(水戸、岩井、伊勢崎、藤枝、八王子など)
16	1982	S57. 3. 1	307	4-5	みんなで「ポパイ(Popeye)」しよう、創造の風土づくりに	昭31全社改善提案コンクール以来26年の活動の歩み、新たなPopeye運動
17	1982	S57. 5.13	311	1	好業績におごらず新たな行動を、56年度決算発表	5/7、過去最高実績(売上4943億円、経常利益490億円)、強い商品が貢献
18	1984	S59.10. 1	359	8	一つの企業の二つのマーク、VICTOR(国内)/JVC(海外)	国内は犬のマーク; VICTOR、海外はJVCで、従来のNIVICO外すをアピール
19	1986	S61. 5.10	391	1	トップ人事を内定、垣木専務が社長に	4/22発表、宍道社長は会長に、松野会長は相談役に内定
20	1986	S61. 6. 1	392	1	役員人事を内定、高野専務が副社長、金子取締役が常務など	5/12、取締役会で高野専務が副社長他の役員人事内定、6/18正式決定
21	1988	S63.11.16	442	1	ビクタービルが完成、先端的なショールーム 28'SGINZA開く	ビクターゆかりの地である新橋にオープン、地上9階地下1階で銀座の新名所
22	1990	H 2. 5.10	473	1	トップ人事を内定、垣木社長が会長、坊上副社長が社長に	4/26発表、坊上副社長(平2年就任)が次期社長、高野副社長は監査役に
23	1992	H 4. 2.16	507	1	全社を変える大幅組織改革、大企業病の根を断ち活力ある体質へ	昭42事業部制以来、25年ぶり機構改編、事業分野明確化と本社スリム化
24	1993	H 5. 4.20	531	1	ビクターエンタテインメントが発足(音産と日本AVCが4/1合併)	制作、販売の一体化で環境変化に対応した総合ソフト会社としてスタート
25	1994	H 6. 6. 1	545	1	新経営体制決まる、新社長に守随武雄氏が内定	5/24発表、次期社長に守随氏(松下取締役)、坊上社長は相談役に
26	1997	H 9. 7.15	603	4-5	V70社員参加イベント、あなたはいくつ参加? 全員でチャレンジしましょう	70周年事業の対外的行事の他、従業員・家族向け社員参加イベントを実施
27	1998	H10.10.15	629	4-5	グローバルに広がるJVCグループのホームページ	ビクター、VE、海外現法各社のHP紹介、現状のアクセス数やリニューアルの概要
28	2000	H12. 3.25	651	1	目指せ! スピード経営、4月から7つのカンパニー発足(国内4、海外3)	4.1よりカンパニー制導入、組織と狙い、本社・カンパニーの責任・権限・機能
29	2001	H13. 2.15	664	2	麻倉怜士氏講演会 ビクターの強みは「人を感動させる力」	1/29、21世紀のビクターの進路のテーマで現状の課題と今後の方向性を示唆
30	2001	H13. 5.15	667	1	新たな経営体制決まる、次期社長に寺田顧問が内定	4/26発表、次期社長に寺田顧問(平12就任)、守随社長は顧問に

NO.	西暦	年 月 日	発行NO.	面(頁)	タイトル	記 事 内 容
<追加> 高柳先生関係						
1	1973	大和 S48.2	226	グラビア	「良い商品は良い人間が作る」 中国電機工業考察団も感心	昭47.11中国テレビ工業視察団が岩井工場見学、高柳副社長も工程説明
2	1980	S55. 8.10	274	7	高柳先生をたたえ旧浜松高工(現静岡大学工学部)跡に記念碑	7/7、当時研究室だった現西部公民館に先生の功績たたえ記念碑建立
3	1986	S61.11. 1	401	6	経営者、大学教授のみなさんに高柳先生が講演	10/14、音研で実践経営学会75名に苦難の研究やチャレンジ精神を講演
4	1987	S62. 8.10	416	1	高柳健次郎先生がアラバマ大学特別名誉教授に	久里浜高柳記念ホールで副学長より高柳先生に称号額、記念メダル授与
5	2003	H15. 1. 9	688	4	テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語(NHK「プロジェクトX」収録)	宍道元社長他ゲスト出演者で12月中旬、NHKでスタジオ収録、1/28放映
6	2003	H15. 2.15	690	8	高柳イズムを見つめ直す絶好の機会！「燃える魂」序編の必読を	75周年記念「燃える魂」序編高柳先生紹介をPR、イントラ社内報にも掲載
<追加> 高野さん関係						
1	1974	S49. 2.16	123	1	「価値あるビデオに」業界初ビデオ紙合同記者会見 (高野(ビ事)長)	2/12、記者を前に「ビデオの利用価値を高めビデオ産業確立に努力したい」
2	1979	S54.10.16	257	4-5	従来のカを越えた意識改革と構造改革、ビデオに新たな目標を	高野(ビ事)長はVHS3年目に新たな目標と80年代にかけけるロマンを語る
3	1992	H 4. 1.25	506	2	高野常任監査役が死去、VHSの事業化に不滅の功績	1/19、前副社長高野さんが東京都内の病院で死去、68才
4	1992	H 4. 3. 1	508	2	VHSの父に最後のお別れ、高野常任監査役社葬に1400人	2/18、青山葬儀所で高野さん社葬、各界から最後の別れ
5	1992	H 4. 3.16	509	2	故・高野常任監査役に従五位勲3等瑞宝章授与	3/4、科学技術庁で伝達式が行われ智恵子夫人に授与
6	2000	H12. 3.25	651	4	「プロジェクトX」放送日4/4、執念の逆転劇・VHSビデオの誕生	NHK-TV人気番組の第2回目放送は高野さん中心のVHS開発の感動ドラマ
7	2000	H12. 4.15	652	12	「プロジェクトX」大反響！速報 (社外/社内の視聴後感想)	4/4放送後、電話などで寄せられた社外/社外の感想や反響の一部紹介
8	2000	H12. 5.15	653	8	「プロジェクトX」大反響！続報(前号に続き)、ビクターファンになりました	前号に続いて掲載、続々と寄せられた感想や反響の中から一部を紹介
9	2002	H14. 6.15	681	3	映画「陽はまた昇る」いよいよ6/15全国公開、感動の輪を上げよう	故高野元副社長がモデルのVHS開発ストーリー、感動の試写会風景



## ● 盛大だった創立披露

〈ビクター音楽産業株式会社〉



会場入口では、わが社を、というよりも日本を代表するアーティストのみなさん、また、八木沢ビクター音楽産業株社長、わが社の百瀬会長、北野社長などが出席者のみなさんを出迎えました。（左は八木沢社長）

場内で吉田正先生と談笑する百瀬会長と北野社長（上）。お客さまにあいさつする八木沢社長と笠島常務（ビクター音産）（下）

その1

大和-1  
発行月日：1972年 S47.8  
発行NO.：220 グラビア

タイトル 「盛大だった創立披露、ビクター音楽産業株式会社」  
記事内容 「昭47.6 ビクター音産創立披露パーティー、今は見られないニッパ犬の氷彫刻」





その2

ニッパ  
の氷彫刻

さる六月二十六日、東京・港区のホテル・オークラで行なわれたビクター音楽産業株式の創立披露パーティーは、業界はもとより政、財界、マスコミ界など各界から一千人の知名人のみなさんが出席、心から栄光あふれる未来への船出を祝福してくださいました。

まさに四十五年の伝統を誇り、業界のリーダーとして音楽文化に貢献するビクターならではの一大盛況。それだけに、新会社ビクター音楽産業へ寄せられた期待は大きく、またこれからの発展は、一般の多くの音楽愛好家からひじょうな注目を集めており、その使命はますます重要なものになったといえるでしょう。

写真上 場内には氷づくりのニッパマーク。約一千人のお客さまで大変な盛況でした。

写真左 会場中央舞台では、西川宗家みなさんの出演による、祝言能の「三番叟」が演じられました。



# 迅速回答15分以内

## インフォメーション・センター

### 「お客さま第一主義」さらに前進

「のたひ、わが社では広報室に消費者志向の一環として窓口を一本化し、「お客さまの相談室」といふべき「インフォメーション・センター」を設置し、本社5階ショールームに窓口を開設、六月一日から業務を開始しました。



志田センター長

わが社では従来お客さまの窓口としては本社内にあっては総務、営業、広報を中心として電話、郵便等によるサービスをはじめとしてお客さまと接点を保ち、第一線に

あつては田舎営業所をはじめ、各地ショールームや関連会社がお客さまの窓口として、お客さまの声を社内関係部門に結びつけていたが、最近この業務が複雑多岐にわたるその質問、要望事項の内容もますます高度化し、一万各企業においても消費者運動のたかまりとともに年々この対策の充実化がはかられています。

「このセンターは「お客さま第一主義」の思想にさらに徹し、製販一体の消費者志向を前提としたもので、オールビクターとして、オーディオ、ビデオ機器を中心とした、サービス、ローン関係についての購入の相談をはじめお問ひあわせ、ご要望に対しても、これを迅速正確に誠意をもってお答えすることを中心とし、業務を通じて得た各種情報を関係部門にフィードバックし「使う人の身には

って具現する商品づくり」と企業イメージのアップに寄与する業務を担当します。

この大切な業務の展開にあたっては各部門の協力が大切で、従業員全員がインフォメーション・マンたるべく応援することが期待されます。

なおインフォメーションセンター設立に際しては広告部、総務部、企画室の献身的な協力があり

ました。

当「インフォメーション・センター」の電話番号は03(241)7811(代)内線431、438、445。業務は本社勤務体制と同じです。

▼同センターの役付任免はつぎ

のつくり。

新 旧

インフォ

メーション(敬助)

モン・セ 付・調査

ンター長 役

(インフ(商検)



本社5階に開設されたインフォメーション・センター

ビクター時報-2  
発行月日  
: 1973 年  
S48.6.1  
発行NO.: 106  
面(頁): 5

タイトル  
「インフォメーション・センター、迅速  
回答15分以内、お客  
様第一主義さらに前進」

記事内容  
「消費者志向の一環で  
本社5階ショールームに設  
置、6/1から業務開始」

# 昭和47年度改善提案

## 1人当たり件数で日本一

### 第1四半期(4~6月)実績

Aグループ総			件数	1人当り
カラー	第1位	8,555件	2.54件	
前	第2位	2,849件	2.31件	
ス	第3位	7,088件	2.13件	
Aグループ計			23,088件	1.43件
Bグループ			件数	1人当り
テ	第1位	357件	0.76件	
横	第2位	103件	0.66件	
レ	第3位	276件	0.59件	
Bグループ計			1,026件	0.21件
Cグループ			件数	1人当り
サ	第1位	645件	4.92件	
本	第2位	209件	2.94件	
八	第3位	240件	2.58件	
王				
子				
学				
Cグループ計			1,179件	0.21件
合 計			25,293件	0.95件

日本HR協会は、毎年会員企業平均件数は、わが社が十三・九件を対照として、提案の活動でトップとなっており(ベスト10企業平均七・八件)、いってしまえば、全従業員のみなさんが、提案に対して積極的な盛り上がりを見せているということです。

これにあらため、ひとりあたりの件数をあげよう、というあたりで、わが社は七位の二十五万三千五百五十九件でした。

とくに昨年は「ちえの大作戦」という新しい方法を加え、盛り上がりましたが、一つのテーマをみんなで考える、全員経営の形がこんなところにもあらわれていて注目されました。

提案制度というのは、わが国でとくに無敵ですが、この制度に積極的な企業では、件数も大きく伸びているのは当然といえば、従業員のチエを積極的に活用しているという姿勢がはっきりあらわれているといえます。

一般には、企業の規模が大きくなればなるほど従業員ひとりひとりのアイデアを吸いあげていくことがむずかしいといわれます。提案制度が生活するものには、点にあるわけですが、それは、世の中の流れに逆行して、人々を

近代経営社発行「人と経営」七月号に掲載されていますが、この四十七年度の改善提案に対する実態調査が報告されています。これによると、わが社がひとりあたりの平均提案件数で全国第一位という結果がでました。これは、わが社の改善に対する全従業員みなさんの積極的な意欲のあらわれであり、その意味では、この結果はたいへん素晴らしいものです。

これは、一部の専門家のアイデアばかりでなく、衆知を集めてよいアイデアを採用していくことが経営上どうしても必要になります。

提案の実績は、各企業とも上昇傾向にあり、総件数ベスト10の企業の件数をあわせると、じつに二百五十万件にも達しているほど。

しかし、問題はこうした提案をどうやって仕事に生かしていくかという点です。わが社の場合、採用率はこれまで算出されていませんでした。ここからは、内容の充実が大きな方針として設定されましたが、これが採用率の向上につながるものであり、この点でもみんなの手で大きな成果をあげたいものです。

## 全員のヤル気です HR協会の調査でわかる

改進黨案推進の事務局である研

### みんなの努力の成果です

「ひとりのあたりの提案件数が全国一位になったのは、ほんとうに喜ばしいことです。これも全従業員のみなさんが、積極的に提案活動に取り組まれた、その努力の成果だと思います。」

これからは、こうしたみなさんからの提案をいまだ以上に生かしていくことが大切でしょう。また、提案を受けた側は、それをできただけ生かしていく態度が必要だと思ふのです。

前年度の、この報がたいへんをくすませ、提案の件数をより濃くものにしていくなか、みなさんの力でさらに大きな提案活動の盛り上げが実現しよう。

「社長表彰は必ず受賞します」

ひとりあたりの平均提案件数日本一——のニュースをきいて、昨年度好成绩をあげた職場の両は。

前年度、ひとりあたり七十九件とハイペースだった(世)の提案委員のひとり塚本忠志さんは、「ビクター日本」に品質管理部長が役立ったのです。

昨年は、年間目標を立てたこと、チームをひきつけて競争意識をあおったこと、ゲーム性をもちたせて意欲を高めることなどで量を追ったわけですが、これでは、質を

上げるために、自分たちの仕事の見直しをして、それを提案して、このようにしたい、というふうになりまいた。第一四半期はペースが落ちましたが、第二四半期から、みるみるうちに、それ、年一回ある社長表彰も、必ず努力賞以上を受賞しよう、という目標でやっています」と意欲満々でした。

また、Aグループで一位だった(前事)でも、つぎのうちに感想を語っています。

(前事) 総・松谷議長「わが社がトップになったのは喜ばしいことです。」

これからの課題として考えなければならぬのは量から質へどう転換するかという点だと思います。

(前事) 製一係長・岡村昌明さん「(前事)の製造部門では改善提案のねらいとして、自分の仕事をやりやすくするための改善提案を出そう、また自分たちの職場の環境をよくするための改善提案を考えようという思想をもっています。また改善提案の提出ルートで上司がすばいードバックでできる体制をとっています。」

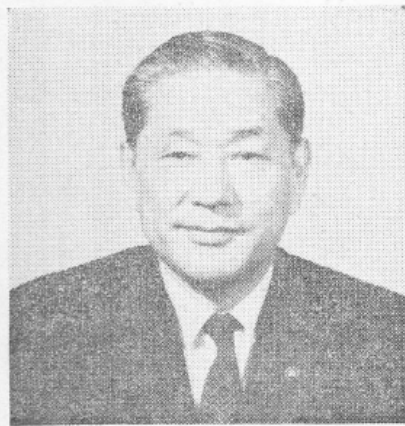
このような努力を、今後も続けて、提案件数と内容を向上させるようがんばります。」

ビクター時報-3  
発行月日  
: 1973年  
S48.7.16  
発行NO.: 109  
面(頁): 3

タイトル  
「昭和47年度  
改善提案1人  
当たり日本一、  
全員のヤル気  
です」

記事内容  
「HR協会調  
査で1人当た  
り件数全国第  
1位、全従業員  
の積極的意欲  
の表れ」

# 経営陣に大幅な異動



松野新社長



徳光新副社長

## 新社長に松野(松下)常務 徳光常務は副社長に内定

さる十月十六日、わが社十月定時取締役会が本社役員会議で開かれましたが席上、第八士期(48・3・21～9・20)決算案が決議されるとともに、役員人事が内定しました。

これによると、新社長には松下 徳光・松野 幸吉 常務取締役が、副社長には徳光常務取締役が就任することになり、副社長が取締役に就任し、

こととして二十年になりますが、その間企業も著実な発展をみせ経営者として後を継ぐべき若い方々も成長してきました。現在の激動期に對し、企業を原動力に立ち返って出発させるため、こうした人たちが経営陣に参加、社内新しいいきさをふきこんだ「新生ビクター」を意図したものが今回の役員異動だといえます。

なお異動の内容はつぎのとおりです。(敬称略)

取締役社長(代表取締役) 松野 幸吉(現松下電器産業常務取締役・東京駐在 明39・3・28生)

取締役副社長(代表取締役) 徳光 博文(常務取締役・ビデオ事業本部長 大3・5・28生)

取締役相談役 巨瀬 結(取締役会)

長 明30・11・1生)

取締役

北野 善朗(取締役社 長大4・6・25生 松下電器産業の東京駐在理事に就任予定)

取締役

奥野 一郎(特機営業本部長 昭2・11・30生)

取締役

内田 文雄(理事・白黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

高柳健次郎(取締役副 長 明30・11・1生)

取締役

徳光 博文(常務取締 役・ビデオ事業本部長 大3・5・28生)

取締役

松野 幸吉(現松下電 器産業常務取締役・東京 駐在 明39・3・28生)

取締役

徳光 博文(常務取締 役・ビデオ事業本部長 大3・5・28生)

取締役

松野 幸吉(現松下電 器産業常務取締役・東京 駐在 明39・3・28生)

取締役

徳光 博文(常務取締 役・ビデオ事業本部長 大3・5・28生)

取締役

社長 明32・1・20生)

取締役

隠塚 典行(理事・九州総括営業所長 大4・11・10生)

取締役

奥野 一郎(理事・カ ラーテレビ事業部長 大9・11・25生)

取締役

内田 文雄(理事・白 黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

奥野 一郎(特機営業 本部長 昭2・11・30生)

取締役

内田 文雄(理事・白 黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

奥野 一郎(特機営業 本部長 昭2・11・30生)

取締役

内田 文雄(理事・白 黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

奥野 一郎(特機営業 本部長 昭2・11・30生)

取締役

内田 文雄(理事・白 黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

奥野 一郎(特機営業 本部長 昭2・11・30生)

取締役

内田 文雄(理事・白 黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

奥野 一郎(特機営業 本部長 昭2・11・30生)

取締役

内田 文雄(理事・白 黒テレビ事業部長 大9・9・9生)

取締役

奥野 一郎(特機営業 本部長 昭2・11・30生)

# ビクター時報

日本ビクター株式会社  
東京都中央区日本橋本町  
4-1-1  
電話(241)7811 郵便番号103  
編集 広報室広報部  
発行人 松本 修  
印刷 東京サンケイ印刷機

昭和48年度経営スローガン  
ほんものに徹する



# 経営新体制スタート

大和一致で新風まき起こそう

十月十九日、定時株主総会に出席した。臨時役員会につづいての取組方針において、松野社長、津田副社長をはじめ、新体制がスタートしました。また、松野社長、津田副社長は二十の事業部長会長の席上で、別個のような抱負を述べられました。

なお当日、出席された松下電器の高橋社長が別席で、この三人のお話がある長が、この三人の方々の話を聴かしますと、つぎの四点が強調されていまして、常に経営の基本方針に基いて、業務の遂行に基いたとい、その中に各部署の業務の

一、全従業員は、大和一致の精神をもって協調し、明るい職場をつくり、それぞれの従業員自身から新風を巻き起こすよう努力したい。

二、ビクターの保有する高度な技術をますます發揮し、販売力の強化とビクターイメーシの高揚にまい進したい。

三、当面は、社内の組織がえ

社長（代表取締役） 徳岡 幸吉  
副社長（代表取締役） 徳岡 博文  
専務（代表取締役） 西垣 秀正  
取締役 矢田 恒久・北野 善朗  
高崎健次郎・吉井三男  
松山晋八郎・大塚 史郎  
若松 守・佐谷 誠蔵  
渡辺 叔夫・平田 雅彦  
監査興行新入 奥野一郎（新  
内田文雄新）

取締役 松下幸之助  
取締役 松下誠  
取締役 松之下助・百瀬 結  
取締役 高橋英太郎・森 国穂

松野社長(右)と徳光副社長

全員同じ汗かいて

みんなが燃えて改革を

社長 松野幸吉

このたびは、からす日本ビクターの社長を拝命いたしました。が、ひとたびお引き受けいたしましたからには、金身全書を投じてこころになす。みんなの気持ちが一つになっていふことが、どんなに大切かという点を強調されました。先生はまた、『人の惡しみを知ら

がんばろう、みんな  
新しいものへ挑戦

きのう月曜朝時、臨時役員会において、  
 次期土曜開催の議案を審議し、統一  
 して土曜開催を採決する会を開き、  
 びに統一して成程採決会において正  
 式の開催を決定した。この前議長  
 の要請により、この統一開催の  
 案は、この統一開催案から、業  
 員の名簿を提出して、この統一開  
 行の案を決定した。

副社長 徳光博文

[illegible]

北野社長の退任あいさつ

企業は自力で守れ

思い出つきぬ二十年間

さる十一月一日、本社十階ホールで行なわれた全仏朝礼で十一月十九日もって社長を選任された。野村社長から「おれ、まづがあまりなれど、漢語とした語りの口なのかも知れぬ、ゆく歌を惜しむ風情にも似たたれな麗さの叙しとレキターと共に歩みつけたれた日々を回顧する情別の函とが交差するなかで社長のわが社を思つて十年間の軌跡が語られました。

# 企業の社会的使命

基本方針のもと永遠の発展を

松下電器会長 高橋 荒太郎

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

昭和49年度

# 経営方針スローガン募集

明年のスローガンを下記により募集いたします。

とくに明年は新経営陣のもと、大和一致の精神で飛躍への道をあゆむ「新生ビクター」建設のために、全従業員の高志をひとつにするスローガンを募ります。

- 趣 旨 わくたたく社員意識のひとりとひとりが、社業のかけりない発展をはかるための努力目標を定め、全員参画の衆知証書を実行する。
- 応募資格者 全従業員
- 募集期間 昭和48年12月1日(土)～昭和48年12月10日(月)
- 提出方法 応募は、応募用紙に記入し、所属上長経由で人事担当課長へ提出のこと
- スローガンの内容 次の諸点に留意されていれば自由です。
  - ① 当社の経営基本理念をふまえ、現状認識と将来への展望のもと、全従業員の積極的な意欲と行動力が結集できるもの。
  - ② 全従業員が、「和」の心をもって一歩一歩努力し、対話のある創意あふれる職場を実現し得るもの。
  - ③ 全従業員の心構えとして、よく理解でき、社会的に活用でき、しかも、お客様までの信用と信頼に匹敵するにふさわしいもの。
- 発表 昭和経営方針発表会当日(1月16日)
- 応募件数 ひとり2件以内

ビクター時報-5  
発行月日：1973年 S48.12.1  
発行NO.：118  
面（頁）：1

## タイトル

「経営新体制スタート、大和一致で  
新風まき起こそう」

## 記事内容

「11/19取締役会で松野社長と徳光副社長の抱負、北野前社長退任挨拶」



3 月 度

1.買付株価:	334円
2.買付株数:	25,997株
3.1口当り買付株数(概算):	3,290株

[illegible]





# Victor

DECOMAS

## 新ビクターマークを採用

4月  
から  
企業イメージの統一へ

「デコマス」—なんのことが  
「存」ですか。これは、合成語で  
Design Coordination  
as a Managements Strategy—経営戦略のための  
デザイン統合—という意味。

このデコマスが、会社創立五十  
周年を機に、明年四月一日から三  
年計画で順次実施されることにな  
りました。

デコマスの目的は、ひとことで  
いえばビクターマークや色の使い  
方を統一することによって「企業  
のイメージアップをより効果的に  
推進するための基盤とする」もの  
です。

ビクターが行なっているあらゆる  
企業活動での視覚表現、たとえ  
ば商品をはじめ看板、広告物、包  
装、ユニフォームなどを意図的に  
統合します。これによって社内外  
に、積極的で個性的な「顔」をも  
つ企業としての方向性を表現し  
て、イメージを高めよう、という  
わけ。

これまで、その時その時によっ  
ていろいろなビクターマークがつ  
くられてきました。小さなものでは  
封筒類から大きいものでは建物  
の表示など、それが混在している  
のが現状ですが、デコマスの実施  
によって、すっきり統合されるこ  
とになるわけです。

実施内容は基本的にはつぎのと  
おりです。

①「犬のマーク」はカットのよ  
うに周囲の丸をとり、新しい書  
体のVICTORと二体で表示。  
明年四月からは、これが「新しい  
ビクターマーク」となるわけで、  
当然「商標」として登録される。

②新マークは印刷物や商品の大  
小など、その使用形態に応じて三  
つのタイプを設定し使いわけ。  
③社色（コーポレート・カラ  
ー）としては「ビクター・ブラッ  
ク」「ビクター・オレンジ」を、  
サブ・カラーに緑、青、赤を各

め、それぞれの適用範囲を設けて  
使用する。

④国内では対象を限定して、新  
マークと「JVC NIVICO」  
の連合表示を実施する。

### 新マークの 正しい運用を

この新しいマークは、事務帳票  
類、看板やネオン・社名などの標  
識類、広報・広告物、販促物、商  
品とこれに付属する説明書など、  
包装・梱包類、輸送用機器（自動  
車など）、ユニフォーム、建物  
—などに表示されますが、運用  
については近々発行予定の「デコ  
マス」で紹介する予定です。

◇ ◇  
なお一部例外として四月以前に  
実施されるものもあります。五十  
二年一周年使われるカレンダー、  
現時点で購入されるか塗り替えら  
れる運送用トラック、あるいは新  
規の社屋につけられる看板など  
です。

デコマス実施には、やり方によ  
ってはかなりの費用を要するた  
め、一挙にすべてを替えるわけに  
はいきません。そこで三年計画と  
なったわけで、その間、従来のも  
のとの重複があることは避けられ  
ませんが、マニュアルのにつと  
つた新マークの正しい運用によっ  
て、統一された企業イメージを確  
立したいものです。（「デコマス」  
については、実施の時点でくわし  
く紹介する予定です）

ビクター時報-8  
発行月日：1976年  
S51.12.1  
発行NO.：194  
面（頁）：1

タイトル  
「デコマス 新ビク  
ターマークを採用、  
企業イメージの統一  
へ」

記事内容  
「創立50周年を機に  
昭52.4月から犬マ  
ークは周囲の○を取  
った新ロゴに変更」







# 経営戦略のためのデザイン統合

## DECOMAS実施



# Victor



レコード第三工場社屋



ポスターの例

各社がぞくぞく  
イメージ戦略展開  
「HIS MASTER'S VOICE」



ポスターの例

# 3年間ですべてを切りかえ

脱皮しよう——  
積極的な企業に  
詳細に規定  
マニュアルで

「HIS MASTER'S VOICE」

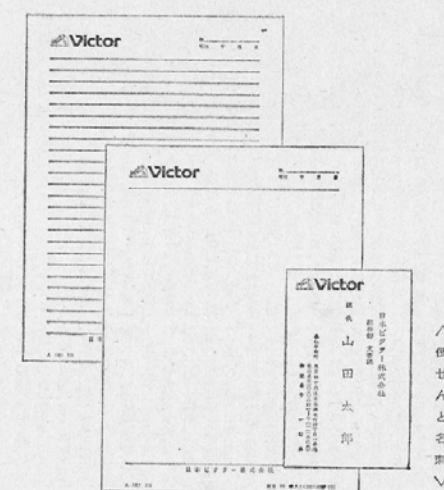
対象項目	スケジュール概要
事務書類類	①52年4月1日から。但しいっせいの切替えではなく、各部署の消化後切替えしていく
商品	①原則として52年度発売の新機種から切替え ②但しロングラン機、継続機についてはタイミングをみながら早期に切替え促進
商品パッケージ	①原則として商品に合わせる ②新展開成のものは着工時点から ③既設分は改修時点から
ポスター・ボード、ネオン看板、建物標識など	①52年4月1日から
社旗及び商標	①新規購入車は購入時から ②現行車は今回の改修変換時点から
車	①原則として52年4月1日から
広告物、販促物	①原則として52年4月1日から

段階的に実施  
まず広告など

「HIS MASTER'S VOICE」



雑誌広告（週刊ポスト4／1号）



八世せんと名刺

ビクター時報-10  
発行月日：1977年 S52.4.1  
発行NO.：201  
面（頁）：4-5

タイトル  
「経営戦略のためのデザイン統合、  
デCOMAS実施、3年間ですべて切り替え」

記事内容  
「4/1から段階的实施、マニュアルで詳細規定、新ロゴ社名で新たなイメージ戦略」



車体塗装の例

# ビクター時報

日本ビクター株式会社

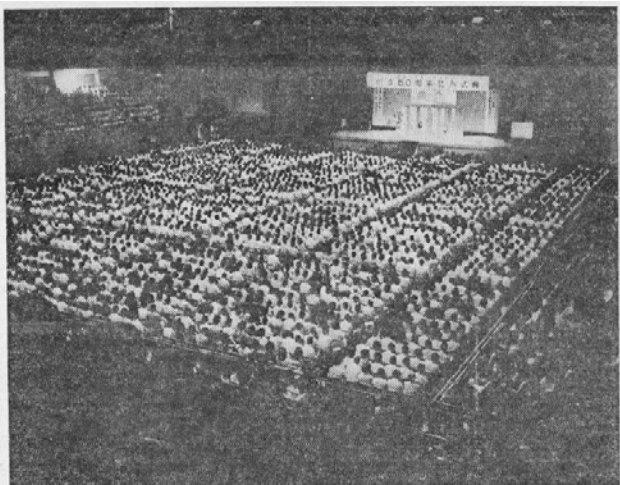
東京都中央区日本橋本町4-1

電話 (241) 7811 郵便番号103

発行人 松本 珍

編集 広 報 堂

印刷所 東京サンケイ印刷(株)



5200人余を熱心新しいスタートを誓った式典（横浜文化体育館）

## はれて創立50周年



あいさつする松野社長

### 松下相談役メッセージ

日本ビクター創立50周年おめでとうございます。日本ビクターの50周年の歴史は、戦後復興の時代から、高度経済成長の時代、そして高度成長の時代へと、時代とともに変遷してきました。50年という長い歴史の中で、私たちは常に時代の変化に対応し、新しい事業を開拓してきました。これからも、私たちは時代の変化に対応し、新しい事業を開拓してまいります。

創立50周年を記念して、私たちは「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。

松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。

## 新しい半世紀に向かい 雄々しく前進しよう

松野社長  
あいさつ

皆さん、こんにちは。今日は、日本ビクター創立50周年を記念して、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。

松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。

ビクター時報-11

発行月日  
: 1977年  
S52.9.16

発行  
NO. : 211  
面(頁) : 1

タイトル  
「はれて創立50周年、松野社長挨拶、松下相談役メッセージ」

記事内容  
「※記事ピックアップは懐かしい横浜文化体育館の式典の写真のため」

### 祝電

松野社長、おめでとうございます。日本ビクターの50周年を記念して、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。松野社長は、式典で「はれて創立50周年」をテーマに、新しいスタートを誓った式典を行いました。式典には、松野社長をはじめ、役員、社員、関係者など、5200人余が参加しました。



ビクタービデオセンター



# はなやかにオープン 盛り沢山の催事 展即会



さる十月十七日午後一時半、旧虎ノ門ショールームのビクタービデオセンター「VIC」が多数の報道関係者を招いてオープンしました。この日は、松野社長、徳光副社長が出席され、テープカットしました。松野社長は「ビデオの面白さ、便利さをたくさんの人に知っていただくよう、このVICを利用してください」とあいさつ。つづいて、VIC・小林センタ―長が各コーナーの機材、機能を説明しました。

十七、十八の開館招待の両日、のべ四百人の評論家、マスコミ、ビデオ業界、企業関係者でにぎわいました。

一部の意見をうかがうと――東映ビデオ・山下部長「ビクター商品は、VHS、倍速、カメラなど開発力は認めていましたが、販促面でごまかす手は打つとは思いませんでした。こんががらみですね。」

株式新聞・小林記者「ビクターの戦略は大ですね。技術開発戦略から従来のビクターが弱いといわれていた販売戦略へ大きくひろげようとしている意欲がわかります。評論家・原和正氏「余暇開発センターからビデオについて答申を求められ提案したものがまさにVICです。ビデオは単体でなくシステムとしての展開が必要だということ。ターゲットをしっかりと決めているので設備としても立派ですね。」

評論家・森口以佐夫氏「ビデオの相談を受けた時、VICを驚かさないといいです。これはビデオセンターというより情報センターですね。」

石川島播磨重工業広報室・幸田副部長「大へんすばらしい。これからのコミュニケーションは映像ツールによるものがポイントになることを感じます。」

VICはさる十九日から本格稼働に入りました。

二十三日の日曜日、VIC催事の一番手として、東京西ビクター（西村常務）では森みどりさん、あかはゆきさん、女子プロゴルファーらの特別出演で「ビデオフェア」を開催。



吉沢さん



四方さん



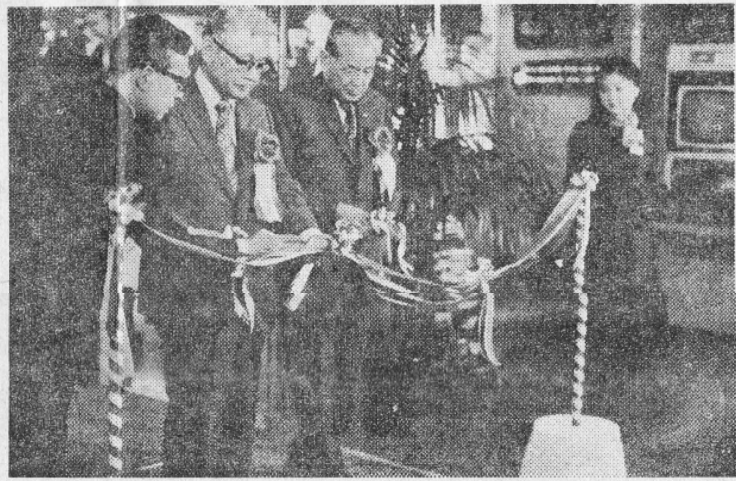
赤堀さん

## VIC 11人の顔

時代を先どりするビクタービデオセンターVICで活躍する十一人のみなさん――

吉沢幸恵さん 絵が好き。お茶に生け花、車にスポーツ、おしゃれにおデト―あれもこれもやりたいお年ころ。弟がいるお姉さん。

ただで長女らしからぬ甘えんぼじ、洗たく、編み物、手料理―と独自のポイントで数人目がきれる。はがらか、三十年福井生まれ。プロ。ゴルフ歴五年で手ほどきし四方（よも）正美さん まるるのお顔に目がパッチリ。VICの中をあつちへこつちへよく動く。健康なパンダちゃん。明朗かつ達郎、大学時代は演劇部。入社歓迎の社員旅行の宴席で（お酒を）つ



17日午後1時半、VICのテープカットする松野社長と徳光副社長

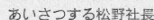
その  
1

ビクター時報-12  
発行月日：1977年  
S52.11.1  
発行NO.：214  
面（頁）：4-5

タイトル 「ビクタービデオセンターVIC はなやかにオープン、盛り沢山の催事 展即会」  
記事内容 「10/17、旧虎ノ門ショールームにVICがオープン、ビデオの面白さを知ってもらう」



その2



チャーミング園さき

うというものでした。

この第二回目にあった午月十日放送分にはオウン真近所で最後の整備、調整に忙しいVICが選ばれました。

この日は、TBSスタジオ内にVICの山本、嘉さん、ビデオ事業部の大塚昌弘さん、関盛さん、それぞれが奥さまがスタジオバイ。やがて、テレビカメラがVICを写したしました。左から真VICの奥さん、右が三笠さんから紹介したあのVICのビデオカメラと照像機材の最後の調整に

とりくむ山本さん、メイコさん、ローレックの奥さん、デジエコーナードVICの女性スタッフに説明しての撮影が完了しました。

スタジオでは司会の方にも山本さん、斉藤恵子さんが三人の奥さまにそれぞれのご主人の日常の生活ぶりやなりゆきなどを根拠を裏取り聞き出すのでした。

この間約十分、このVICの紹介はTBS独自の企画に店員費、中村誠さんによる担当広報費、材料費などとして、ほぼ電算料に換算すると二千万円が

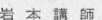
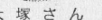
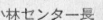
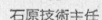
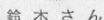
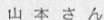


## 川を開設

VICは単なるシミュレートではなく、一般消費者、企業や学校関係のユーザー、さらにビデオを扱う特約店さまのプロモートを重要な使命としています。

その機能の一つに、ビデオスタイルの開設があります。

VICビデオスクールでは、ビ



長崎、三浦、大分、福岡などのバス路線に。熊本・特産販売部長の後、東北、青森、山口などのサード拠点長を歴任。腰が低く、口が軽い人、や猿突猛進。「入社したところ無意味な」ところほどよくしゃべり、「先組切羽なし」でかたて、ばくち、かたて無地で直目。周囲がきかずともハートをながめていろいろ構造、機能わかる技術の持ち主。常に好意を持って「ババ。ババ。ババ。」と中二のバ。八年前誕生された。

大塚昌嗣さん VCC事業部営業の人でVTRの技術担当の駐在員。三人で八十八社。VTR製造からサービスマネジメントまで、旅行でマナーパスの運手など。ビデオテープを引きこきする車好き。自然品の研究家愛好家。朝寝坊。夕飯はほろ二丁戸。

Aユーティリティを六十八社、趣味はジョギングを楽しむ。趣味はショッピン。土曜日は福井県生まれ。岩本光正さん ビデオ事業部営業の人。VCCビデオオクトクルの調師。四十年前（一旦ではビデオ営業部門で活躍。パマリテといふのかまういふ人。約については意味不明を過る）。川釣りにには味で釣りかへとは近海でトロリ用。用具も出てフクロ用。月に一回は出る。Sボツ紙の釣行記にもよく登場。「ビデオ売場の人にはオクトクルが好きになるぞ」とガイストラクターとしの持論。二十年静岡生まれ。

容に比べて、股二サードの調整うづつけます。

この常設講座はハードの基本知識からシステムを用いたスキル、幅広いソフトウェアから、ソフト制作の基となるテクニクまで、制作入門までの五講座となります。

常設五講座は以下のとおり

①ビデオシステムの基礎  
原理編 VTR編 日、カセット編一日 いずれも技術を中心に理解しながら基礎的な技術断片を得ていただく。②ビデオシステム技術者としての役割と責任  
講座はビデオシステム、編集技術、二台以上のカタラの基本的な技術の修得。一日。  
③ソフトウェアビデオ制作入門講座  
④オンオフ制御過程を体験し、その実践を通じて制作技術を修得できる。一日。  
⑤ビデオ制作実戦セミナー  
映像音源の演出、教育番組、ドラマ、取材番組などより高度なレベル制作が修得できる。二日間。  
⑥ビデオ販売戦略  
主にビデオ販売店さま向けの実践講座。

当日講座は各講座とも月・火・水・木・金・土・日・祝日のいずれかで開催の予定。詳細はVCIホームページをご覧ください。

なお、VCCではこうしたビデオオアシスのための設備講座のほか、プロフェッショナルビデオワークショップのための本格専門コースやビデオ専門店を招いて特別セミナーも用意しています。



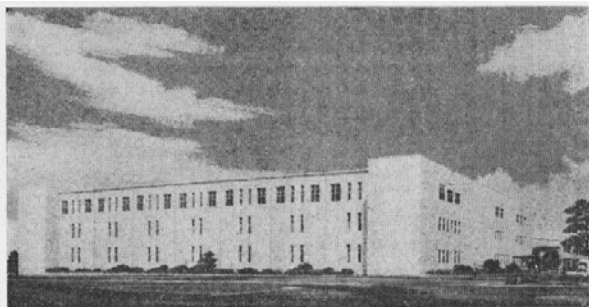




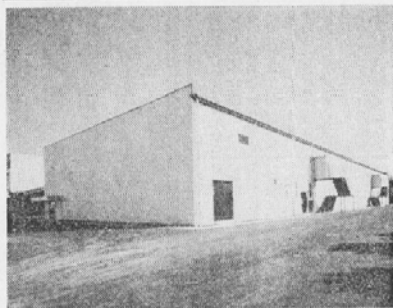
記事内容  
「松野会  
長は会社  
を支え、宍  
道社長は  
衆知経営、  
徳光副社  
長は取締  
役に」

# ビクター時報

日本ビクター株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-1  
電話 (241) 7811 郵便番号103  
編集 広報室 発行人 松本 稔  
印刷所 サンケイ綜合印刷(株)



九月竣工予定の岩井第三工場



完成した水戸第三工場（テープ事・総 木村さん提供）

拡大へ各部門がGO

[illegible]

水戸工場

昭和三十八の春上以来、一断絶で（二書簡）のべ八千五百頁の第三市場建設が進められてきたが、二月一日に完成、二百七十日までのうちに修築完了となり行いませう。

この修築は、水と電気の工

水戸成型

[illegible]

國をたじめまつた。

[illegible]

八王子工場

みんなで築こ  
う大きな実績

河東電子

テレ事業部の協力工場として  
カグーデヒ用の琵琶や、ビデオ  
のユニットを生産しています。  
同社は昨年十八年に旧市立学校舎  
を売却してスナード、という好  
調な業績をあげ、現金も手元あ  
りだす。このため、昨年八月には千  
四百万、今年四月には千九百万、  
昨十月には更に千九百万と増資  
を実施し、ボールドビルは今年  
2、3千万の生産能力を増やして  
ますが、近々の能力が四百五十  
いまだ鹿市工事は、以前より  
の本資を準備し、二、三千万、  
千六、三千三百万の増資を計

## 伊勢崎工場

四期に達する集中工事が、二期には並行して三期より一カ所と園路の舗装がライン後開始し、次回より入ります。三期は常盤川、管理部門へ渡られます。

(特待)付「野原護国神社」にて実施しました。

「現役」場は建設中、五

藤枝工場

わね、メク、増、抄、よう、ち  
 一步をふみ出して、いま  
 わたくしたちは、これまでで  
 とつち重ねてきた一人ひとりの  
 事が、こつした全社的な集大成と  
 て報いられたよ。ひそかに  
 ると同時に、この実績を土台と  
 て、次の発展へのステップを制  
 定しているのよ。

賣

[illegible]

47

これは狭いスタッドを通す厚さの面、面内剛性も低い調長の人間と、板井さん、藤田さんなんかを出すと、扱いにくい感じがミックスされた、同調ならではの家庭劇的なムードがあふっているといわれる。(この項は大塚隆一・総務部長による)

[illegible]

ビクター時報-15

発行月日  
: 1981年 S56.3.16

発行NO. : 287

面 (頁) : 1

## タイトル

記事内容  
「各工場部の生産体制  
拡大状況（水戸、岩井、  
伊勢崎、藤枝、八王子な  
ど）」



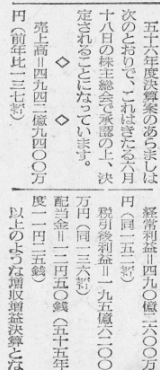




五十六年度の決算が、有七の七の定期取戻金と、返済額と、同日に発表されたこれによつて、年間の差額は約九四億、經常利益の四の四、六半の増の増となつて、過去幾つかの業績を記録しながら、この年に入りました。この好業績は、金持ちの味方をして、生んだ、強い国が、おかげで、度々解んぬるといへます。また、この金を更に大きくつていくためには、いつつかの廉價品を包してつとめる恐れは、はなつていふやう。とくに、下半期に入つて、世界的なデパート不況、ビデラの競争下、買物難問など、わが社をとりま、環境は益々悪化してつとめており、この下、下半期実績が久ひかりに誰と争つたところにもあつたわけになります。五十年紀は、兩きびと元を期してききました。わがしたちはこの変化ばかりかと認識し、好成績に気を配つてゐる、となく、絶頂を結してと問題点に孫觀し、社会の信頼に居るの深遠な海に、いくと要があつてしまふ。

[illegible]

池田経理部長の話



界に先駆けてこの不況を脱却して、ビデオ一本にたよらずバランスのとれた事業の展開ができること。

のすがたは、下半期からわが社にも大きく影響を与えています。

を中心とした業界のきびしい不況

引車となって売上げを伸ばしまし

う。

うはわれることなく、深層の流れにも目を向けることが大切でしょう。

おかげで好業績をあげることができました。ただ表層の流れに目立

五十六年度は、皆さんの努力の

体制つくり

売る時代への

ってあたるべきでしょう。

一 績向上への挑戦に全員が一体と



1

10

記事内容  
「5/7、過去最高実  
績（売上4943億円、  
経常利益490億  
円）、強い商品が貢  
献」

し、かり見て、より一層の奮  
 励を今後共着実に築くため、みんな  
 なで力を合わせてがんばりましょ  
 う。

への転換を急ぐ必要があるといえます。

うにつとめることが大切です。同時に、最も重要な課題である自社販売体制を強化して、いままでの売れた時代から、売る時代

これを乗り切るためには、**「商品」のシリーズ化を図り、業界に先駆けてこの不況を脱却して、ビデオ一本にたよらずバラ**

た。しかし、オーディオ・テレビを中心とした業界のきびしい不況のすがたは、下半期からわが社にも大きく影響を与えています。

うはわれることなく、深層の流にも目を向けることが大切でしょう。

五十六年度は、皆さんの努力のおかげで好業績をあげることができました。たゞ表裏の流れに目立

売る時代への  
体制づくり

續向上への挑戦に全員が一体と

2

100

# 一つの企業の、二つのマーク。

**ビクターは、JVCの国内ブランドです。**

海外旅行などの際、ご覧になった方も多いと思います。JVCの三文字。蓄音機に耳を傾けたニッパのマークで親しまれている私たち日本ビクターの海外ブランドです。「音のビクター」「ビデオのビクター」と、国内で私たちの技術に寄せられる信頼はそのまま海を越え、「ビデオのJVC」「オーディオのJVC」との声を世界各国で耳にするようになりました。欧米のエレクトリック・ストアでもJVCの商品が人気を集め、来日の折にはJVCマークを捜し求める外国人観光客も少なくありません。こんなすれ違いを解消するためにも今日から私たちは、海外ブランドのJVCマークと、国内ブランドのニッパマークを併記することとします。世界の人々が地球単位で対話し、生活し始めている今日、私たち日本ビクターに課せられた国際的な役割はますます大きなものとなってきました。これを機会にさらにグローバルな企業として活動し続けます。



毎日の生活をより楽しくするための独創的な商品の開発と、新しい文化の提案。これらすべてを満たさなければ、真の国際企業とは呼べないと、日本ビクターは考えています。たとえば、私たちが一九七〇年代に開発したVHS方式ビデオ。その基本性能や信頼性の高さを国際的に大きな支持を受け、いまや世界の8割を占めようとしています。世界中のご家庭で私たちのビデオを楽しんでいただくため、広く海外に輸出すると共に、現地生産会社をいち早く、西ドイツ、イギリスの会社と提携して設立。貿易摩擦が表面化した現在でも、その協調ぶりは世界のビジネスマンの注目を集めています。今後はVHDビデオディスクやAVパーソナルコンピュータなども、国内同様、普及に努めます。海外では日本企業の誇りを忘れずに、国内では常にインターナショナルな視野を持ちながら発展し続ける決意です。私たち日本ビクターの「先進の個性」にご期待ください。

**JVCは、ビクターの海外ブランドです。**

日本ビクター株式会社

ビクター  
時報-18

発行月日  
: 1984年

S59.10.1

発行NO. :  
359

面  
(頁) : 8

タイトル  
「一つの企  
業の二つの  
マーク、  
VICTOR  
(国内)  
/JVC (海  
外) 」

記事内容  
「国内は犬  
のマーク;  
VICTOR、海  
外はJVCで、  
従来の  
NIVICOを  
外す、をア  
ピール」

# 垣木専務が社長に

## トップ人事を内定、発表



新社長に内定の垣木専務

四月二十二日に本社でひらかれた定時取締役会で、役員人事がつぎのように内定、発表されました。これは、六月十八日の株主総会後の取締役会で正式決定のはこびとなります。

代表取締役会長

宍道 一郎(現 社長)

代表取締役社長

垣木 邦夫(現 専務)

相談役

松野 幸吉(現 会長)

◇ ◇

発表は経団連会館と本社でそれぞれ行われました。

合同記者会見の席上、松野会長、宍道社長は垣木専務を「百の理屈よりひとつの実行で、着実に仕事を進める人」「技術畑ながら経営感覚にすぐれ、次の時代の当社を背負ってもらえる」と報道陣に紹介、次期社長としておおきな期待をかけているむねを明らかにしました。

垣木専務は「会長、社長か

ら先週お話を受けたばかりでまだ気持ちの整理がついていないが、これまで会長、社長が築かれた路線に忠実に、人の和で企業の総合力を発揮してゆきたい、と思います」と話しました。

◇ ◇

【垣木専務の略歴】二十三年四月入社、四十九年一月カラートレビ事業部長、同十一月取締役、五十三年六月に常務、五十五年六月専務、五十七年六月から代表取締役専務。東大第一工学部卒、六十一歳。

ビクター時報-19  
発行月日：1986年  
S61.5.10

発行NO.：391  
面(頁)：1

タイトル  
「トップ人事を内定、  
垣木専務が社長に」

記事内容  
「4/22発表、宍道社長  
は会長に、松野会長は  
相談役に内定」



# 役員人事を内定

高野専務が副社長、  
金子取締役が常務など

会長、社長関係トップ人事  
については本紙前号でお知らせ  
しましたが、そのほかつぎ  
の役員人事が五月十二日の定  
時取締役会で内定、発表され  
ました。正式決定は六月十八



高野新副社長



金子新常務取締役

日の予定です。

代表取締役副社長

高野 鎮雄（現 専務）

常務取締役

金子 勘作（現 取締役、  
D事長）

【新任取締役】

町田 豊隆（現 理事、  
テ研長）

狩野 陽二（同、営本長）

上野 吉弘（同、ビ事長）

古市 敏朗（同、人長）

光崎 親一（同、テ事長）

坊上 卓郎（同、才事長）

【新任監査役】

石井 正雄（現 取締役、  
磁本長）



# ビクタービルが完成

先端的な  
ショールーム  
28'S  
**GINZA**開く



この地は昭和の初め、日本ビクターが東京に初めての営業拠点を設けたゆかりの地で

あり、これからの汐留地区の再開発による新都市計画のかけられた当ビルの外観は銀座に新しい景観を添え、28'S

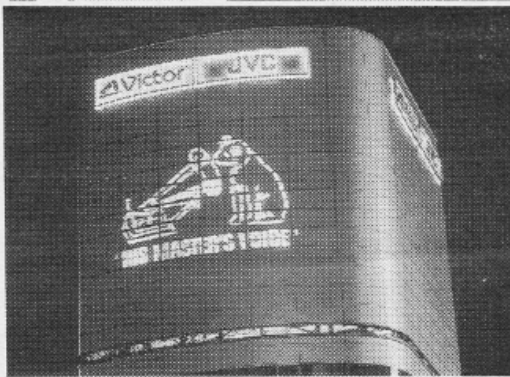
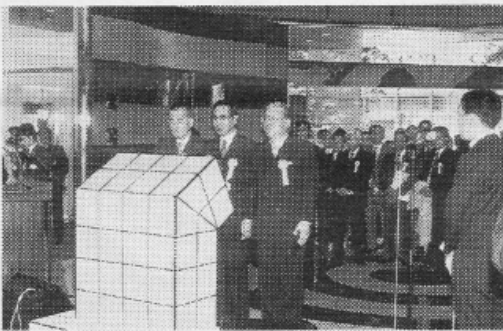
昨年八月から、銀座通り新橋寄りに建築工事を進めてきました「ビクタービル」がこのほど完成し、十一月十日に関係者を集めて修祓式が行われました。あわせて進められていた、最先端のAV技術の粋を集めたショールーム28'S GINZAの開館準備も整いこの日の十一時より、オープニングセレモニーが開かれました。  
(2面に関連記事)

GINZAは新名所としてビクターのイメージアップの一翼を担って、二十一世紀へ向けてスタートしたことになります。

この日は天候に恵まれ、四階に設けられた式場に垣木社長をはじめ会社幹部、菅沼労組委員長、鹿島建設副社長ら、関係者と地元の方々が列席、十時から、赤坂・山王日枝神社の神官により、式典が始まりました。

式典終了後、建築にあたられた鹿島建設さまに感謝状と金一封を贈りました。

【ビクタービルの概要】



①火入れ式に臨む小長谷ヤマギワ社長、垣木社長、飯淵ホーチキ社長(前方右から)②クッキリとマークが夜の銀座に

ビクター時報-21

発行月日  
: 1988年  
S63.11.16

発行NO.: 442

面(頁): 1

タイトル  
「ビクタービルが完成、  
先端的なショールーム  
28's GINZA 開く」

記事内容  
「ビクターゆかりの地で  
ある新橋にオープン、地  
上9階地下1階で銀座の新  
名所」

住所 東京都港区新橋 一丁目七番一号  
電話番号 〇三—二八九—二九六〇(管理・ビクター不動産)  
敷地面積 四九八・八七㎡  
建築面積 四四二・三一㎡  
延床面積 四四〇・四・六三㎡  
高さ 総高五十二m(建築仕上)  
外壁 鉄骨鉄筋コンクリート造、地上九階地下一階  
アルミ・カーテンウォール  
物三十一・五m  
広告塔屋十九・五m  
鉄骨鉄筋コンクリート造、地上九階地下一階  
アルミ・カーテンウォール  
八台収容



ビクター時報-22

発行月日  
: 1990年  
H2.5.10

発行NO.: 473

面(頁): 1

タイトル  
「トップ人事を内定、垣  
木社長が会長、坊上副社  
長が社長に」

記事内容  
「4/26発表、坊上副社長  
(平2年就任)が次期社  
長、高野副社長は監査役  
に」

## トップ人事を内定

### 垣木社長が会長、

### 坊上副社長が社長に

四月二十六日の定時取締役会で役員人事が次のように内定し、即日発表されました。これは、六月二十八日の株主総会後の取締役会で正式決定のはこびとなります。

代表取締役会長

垣木 邦夫(現 社長)

代表取締役社長

坊上 卓郎(現副社長)

記者会見の席上、垣木社長

は質問に答えて「社長に就任してから後継者のことはいつも考えていました。円高の時代は経営も守りが中心で経験豊かな人が適任ですが、世の中が変わって攻めの経営を進めるには若い人がよからう、ということでは坊上副社長にお願いすることにしました」と話しました。

話をいたいて、驚きの一言です。当面、始まったばかりの社内運動に全力をあげ、会社の成長性・収益性を高め働く人に喜びが感じられる、いきいきした企業にしていきたいと考えています」と抱負を語りました。

【坊上副社長の略歴】三十四年三月入社、五十三年六月ラジオ録音機事業部長、六十年三月オーディオ事業部長、同六月取締役、六十三年六月に常務、平成元年六月代表取締役専務、本年一月から同副社長。電気通信大学電気通信学部卒、五十四歳。

# 全社の変革を断ち切る 大幅な組織改革

先に1/25号でお伝えした通り、年初の新春経営フォーラムの席上、坊上社長はこの下  
期中に「勇気をもって」組織改革をやり抜くことを表明しました。その改革と、関連する  
人事の第一弾がこのほど2/1付で実施され、社内外から強い関心を集めています。  
これをきっかけとして、従来は頭の中ではわかっていても実行できていなかった「大企  
業病の克服」が、急速に進展するものと期待されます。

2/1付で実施された全社または事業グループとし  
社の組織改革は、次のよう  
な三つの軸から成っています。  
事業分野の明確化  
AV業界のきびしい現状  
を見据え、二十一世紀に向  
かってわが社が進むべき分  
野を  
①AV民生（ビデオ、オ  
ーディオ、テレビの基幹三  
事業）  
②プロ（特機）事業  
③AVクロスオーバー  
④ソフト・メディア  
⑤部品事業  
の五分野七事業として整  
理統合、それぞれを事業本  
部とする。

## “大企業病”の根を断ち 活力ある体質へ

本社および本社  
補助部門の機能  
強化・スリム化  
前項の各事業を支援する  
サポート戦略を推進する  
本社機能を、次の六つに集  
約する。  
④営業  
⑤CS（カスタマーサテ  
イスファクション）  
⑥生産助成  
これらの本社機能につい  
ては、特にヨコシ機能の  
充実・強化を図ると共に、  
組織のスリム化を徹底し  
人事の若返り、ローテーシ  
ョンを通じて組織にフレッ  
シユな血液を導入、活力あ  
る体制づくりをめざす。  
（組織変更の具体的内容は  
別項記事を参照）

## 25年ぶりの

## 大幅な機構改編

この一連の大幅な組織変  
更は、わが社が六七年（昭  
42）の創立四十周年を機に  
事業部制を採用して以来二  
十五年ぶりの、事業の根幹  
にかかわる大改革です。  
その内容は、一月十三日  
の新春経営フォーラムで坊  
上社長が掲げた本年度の経  
営スローガン「改革」や「  
抜く勇氣」が現実の動きと  
なって現れた第一弾です。  
一般的に、これほど  
の大幅な構造改革であれ  
ば四月とか十月の新しい期  
のスタートを区切りとして  
行うのが通例です。  
それをあえて二月一日の  
時点で断行した狙いは、第  
一に四月の新年度から新体

### 経営幹部の 新委嘱内容

専務取締役 丹羽靖一郎 △ソフト・メディア担当	常務取締役 上野 吉弘 △人事・生産助成担当
専務取締役 青池 仁士 △技術担当	常務取締役 佐野 浩 △営業本部長
専務取締役 原田 孝 △営業担当	取 締 役 保崎佐一郎 △ビクター不動産 社長
専務取締役 池田 正靖 △管理担当	常務取締役 古市 敏朗 △テクノフェア推進委員会 委員長
	取 締 役 町田 豊隆 △ビクターテクノプレーン 社長
	取 締 役 北村 俊丸 △AVクロスオーバー事業 グループ担当
	取 締 役 狩野 陽二 △CS本部長
	取 締 役 菊池 敏博 △渉外・事業化推進担当
	取 締 役 松田 文男 △特機・情報担当
	取 締 役 五味 英毅
	取 締 役 廣田 昭 △ビデオ事業本部長
	取 締 役 佐々木弘忠 △特機情報事業本部長
	取 締 役 岩崎 正憲 △テレビ事業本部長
	取 締 役 金子 信一 △経理・総務担当

### 主なニュース

- 2 面 JCAがムービーとテープで販促  
キャンペーンを展開
- 3 面 ビクター音産が経営方針を発表
- 6 7 面 全社組織改革の内容
- 11 面 バーコード導入で特事の改革進む

新会社

# 「ビクターエンタ

## テインメント」が発足

ビクターソフトグループの

役員

会長

坊上 卓郎

中核企業・ビクター音楽産業

社長

出口 順

(株)とソフト専門の販売会社・

専務

原田 一正

日本エイ・ブイ・シー(株)が四

常務

須田 四郎

月一日付で合併、総合ソフト

飯田 久彦

会社「ビクターエンタテイン

取締役

斎部政弘(非常

メント株式会社)として新た

勤、山口舜三、

にスタートしました。

金定晟介、大浦

新会社は、制作・販売の一

賢三、樋口和

体化により最近の急激な経営

光、根岸幸夫、

環境の変化に対応、優れたソ

本多慧、飯倉弘

フトの開発に取り組むことも

次、鈴木満、大

に、従来、日本エイ・ブイ・

泉武、大槻洋一、

シー(株)が担当してきた販売受

上川直利、須田

託活動も継続して行います。

英昭(非常勤)、

### 新会社の概要

久野義治(同)

社名 ビクターエンタテイン

監査役

田中啓介、金子

メント(株)

信一(非常勤)

本社 渋谷区神宮前4-26-1

売上高

一一〇〇億円

18 (前・音産本社)

(平成五年度見通し)

資本金 六三億一〇〇〇万円

従業員数

約一〇〇〇人

ビクターニュース-24

発行月日：1993年 H5.4.20

発行NO.：531

面(頁)：1

タイトル

「ビクターエンタテインメントが発足(音産と日本AVCが4/1合併)」

記事内容

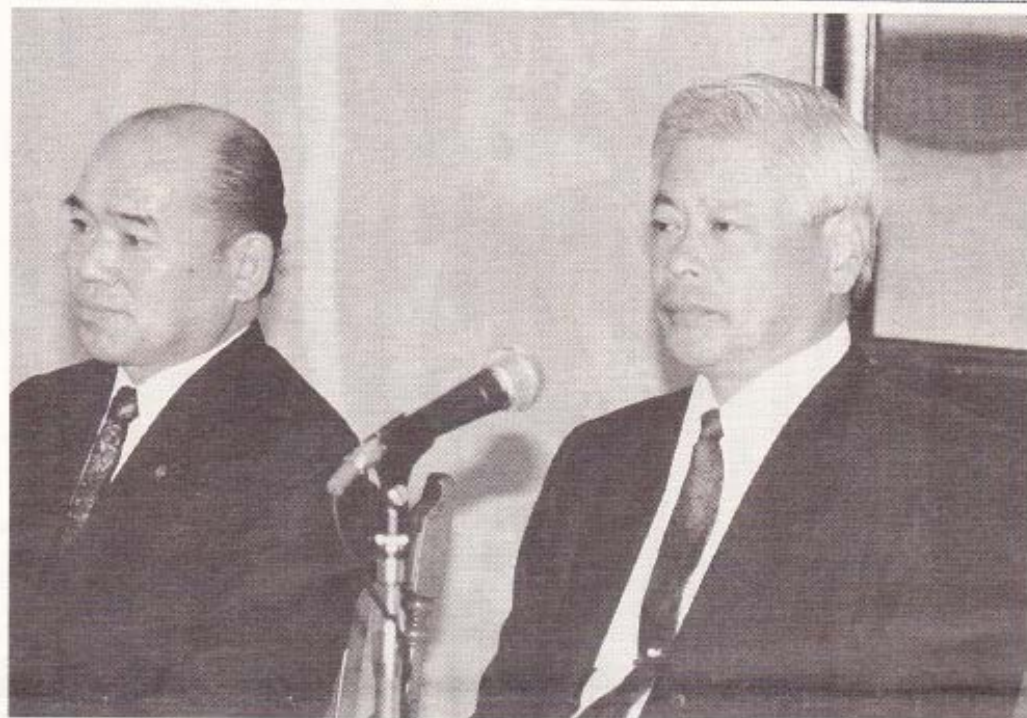
「制作、販売の一体化で環境変化に対応した総合ソフト会社としてスタート」



# 新経営体制決まる

しゅ すい たけ お

## 新社長に守隨武雄氏が内定



五月二十日、本社で開かれた臨時取締役会において、次期社長に松下電器産業株式会社取締役の守隨武雄（しゅすいたけお）氏の就任を内定、同日午後三時四十五分から東京・丸の内会館で

記者会見が行われました。なお同席上で、坊上社長の取締役相談役への就任が併せて発表されました。また五月二十四日の決算発表時に、その他の役員人事の内定が発表されました。

（役員異動・六月二十九日付予定）



（守隨武雄氏の略歴）

昭和三十六年慶応大学法学部卒・松下電器産業入社、五十九年コンプレッサ事業部力一エアコン部長、六十三年台湾松下電器総経理（社長）、平成四年松下電器アジア中近東本部長、五年取締役就任、中国本部長を兼務

新任取締役	取締役	菊池 敏博
取締役	守隨 武雄	取締役
同	海老 泰	退任監査役
新任監査役	光崎 親一	常勤監査役
常勤監査役	菊池 敏博	同
同	川上 徹也	代表取締役及び
非常勤監査役	代表取締役社長	役付取締役選任
退任取締役	光崎 親一	代表取締役相談役
代表取締役常務取締役	取締役相談役	坊上 卓郎

これらの役員人事は、六月二十九日に開催される定時株主総会後の取締役会で正式に決定される予定です。

ピクチャーニュース-25

発行月日  
: 1994年  
H6.6.1  
発行NO.: 545  
面 (頁) : 1

タイトル  
「新経営体制決まる、新社長に守隨武雄氏が内定」

記事内容  
「5/24発表、次期社長に守隨氏（松下取締役）、坊上社長は相談役に」



70周年記念事業の社内向け企画である「社員参加型のイベント」は、ここに特集で紹介する『5つのテーマ別イベント』です。  
詳しい内容については、今号「折り込みチラシ」や「社内掲示ポスター」、または各イベント運営事務局までお問い合わせください。

**Victor**  
PRODUCE  
YOUR  
IMAGINATION.

## あなたのイマジネーションをカタチに！

### 「PRODUCE YOUR IMAGINATION」コンテスト

#### ビクター2002年発想コンテスト

創立75周年、2002年のビクターの姿  
どんな会社になら自由なイメージを！

◆創立75周年の2002年に、ビクターがどんな会社になっているか、どんな商品が、どんなビジネスが？<例>  
商品/新たな事業/メッセ活動/広告/インターネットビジネス/介護型AVシアター/リサイクルシステム等  
★「びっくりふえすと」の提出アイデアも重複可  
■応募規定/A4(orA3)1枚、イラスト/チャート/説明文作品の裏に応募用紙を貼り送付。1人何件でも可。  
■審査/社内外スタッフ。可能なアイデアは活用。  
■募集期間/7/15~10/15 ■発表/98年3月  
■賞金/金賞20万円、銀賞15万円、銅賞10万円 他  
<問合せ>V70事務局 8-40-3442 ☎045-450-1662

#### インターネット・ホームページ・コンテスト

あなたの作ったホームページを募集  
新しさ・面白さ・企画力・デザイン

◆インターネットは会社でも家庭でも、今や広く普及しています。また自分のホームページを開設している人は、社内でも多く見られます。これは皆さんからホームページを応募いただくコンテストです。  
■応募規定/個人でも団体でも可。自作によるもの。内容はフロッピーディスク1枚に収めて送付。  
■審査/社内外スタッフ  
■募集期間/7/15~12/15 ■発表/98年3月  
■賞金/金賞10万円、銀賞5万円、銅賞2万円 他  
<問合せ>(情配推)二松まで 8-71-219(溜池ビル)  
☎03-5563-1255 Eメール futamatu@yh.jvc-victor.co.jp  
★折込チラシ訂正：募集期間/7/15~10/15~7/15~12/15

#### デスクトップ・ミュージック・コンテスト

コンピューター(MIDI)で創った曲  
オリジナルでもカバーでもOK!

◆ビクターには音楽人間がたくさんいます。最近では楽器がなくても、MIDI打ち込みで楽しんでいる人も。これは、オリジナルでもカバーでも、コンピューターを使って創った曲のコンテストです。  
■応募規定/オリジナル、カバーは問わず。オーディオカセット(ハイレゾ)、DAT、MDで応募。時間：3分以内。(MIDIデータのみは不可)  
■審査/オリジナル、アレンジなど審査基準で。(予定)VEのディレクター、他に社内関係審査員。  
■募集期間/7/15~10/15 ■発表/11/15JVC Mキネ  
■賞金/金賞10万円、銀賞5万円、銅賞2万円 他  
<問合せ>(情配推)袴まで8-71-215 ☎03-5563-1255

## 楽しい作品、待っています

### ビクター社内ビデオコンテスト

<東京ビデオフェスティバル・第20回記念>

◆V70を機に、社員のビデオ作品を国内外から広く募集。またDV1を多くの社員が体験してもらおう。  
■応募規定/題材自由(身近な出来事、話題、おもしろ表現など)作品はVHS各規格、Mini DV、プリントアウト、FDなど素材がビデオ映像。時間20分以内。短編も大歓迎。応募促進「DV1貸出し」あり。  
■審査/社内ビデオコンテスト実行委員会、小林はくどう氏  
■募集期間/7/15~10/15 ■発表/TVF 連動  
■賞/グランプリ：1点(幅・海外旅行ベアまたはDVX-1式)優秀賞：2点(幅・国内旅行ベア)活動奨励賞：7点(幅・ディナーベアまたはゴルフベア)参加賞：全員(レカ) <問合せ>(広)東京ビデオフェスティバル事務局 8-37-2249 ☎03-3289-2815

応募作品は今年20回を迎える東京ビデオフェスティバルにもすべて参加登録されます。



70  
1997  
The 70th Anniversary

V-70  
社員参画  
イベント

# あなたはいくつ参加？全員でチャレンジしましょう！

「創立70周年記念事業」は、4月の映画事業発表会を皮切りに、各営業本部、地域本部や関連事業部門より、展示会・商談会など新たな企画による対外的イベントが国内外の各地で展開されていきます。

一方、従業員や家族など社内的な社員参加のイベントも、ここにお知らせする5つの企画によって実施されます。皆さんの積極的な参加で、V70を大きく盛り上げましょう。

### 「ベネフィット」入会キャンペーン

全社員に「デリバネットカード」プレゼント!

あなたも「ベネフィット会員」に。

◆今年2月に設立されたネットワークサービス会社「株式会社ベネフィットオンライン」は、7月から新物流システム「デリバネット」をスタート。今後、北海道地区から順次、全国規模へと拡大していきます。  
◆この「デリバネット」は、新しい物流システムとして各方面から多くの関心を集めており、今回いち早く社員の皆さん全員に「V70記念行事」の一環として「デリバネット会員カード」をプレゼント!ぜひともこの機会に、ご体験・ご利用ください。

<ベネフィットオンライン>  
(デリバネット/デリバネットメイト) 入会特典

- ★特典1 ベネフィットバーチャルショップでCDを買った20%割引(11~12月)
- ★特典2 希望者に、通販会社の最新カタログ贈呈(11月初旬予定。通販会社は現在選定中)
- ★特典3 抽選で、DVDパソコン10台プレゼント(特に通信端末のない方にも大チャンス)

入会金・会費は無料、さらに豪華な特典も

■次の2つの会員からどちらかを1つを選んでください。

会員種類	デリバネット会員	デリバネットメイト会員
会費	入会金/年会費：無料	
ステーション受取場所	○(2カ所) オンライン常時変更可	○(1カ所) 入会時に登録のみ
通販受取	○	○
支払方法	クレジットカード 通販、商品代引	商品代引 (原則)

■あなたが現在または今後、パソコンの有無により「デリバネット会員」「デリバネットメイト会員」のどちらかを、選択してください

- ①現在、持っている方 →「デリバネット会員」に
  - ②今後、購入予定の方 →「デリバネット会員」に
  - ③今も今後も持たない方 →「デリバネットメイト会員」に
- 「デリバネット会員」は自動的に「ぶらら」会員に登録されます。「ぶらら」も入会金など一切なし。  
★詳しい内容は、後日ご案内します。

## 買物便利なベネフィット。話題の映画すぐ見てネ。

どちらもビッグ・プレゼント このチャンスをゲットしよう!

### 「フィフス・エレメント」大ヒットキャンペーン

前売りチケット大量販売 & 公開初期大動員を!

◆70周年記念作品「フィフス・エレメント」の大ヒットを狙い、全社的なキャンペーンを展開します。全社員の皆さんのご協力をお願いいたします。  
■対象/ビクター社員  
■実施方法/前売りチケットをご購入いただき、できるだけ早く映画を見にってください。  
(公開初期の大動員数でその後の上映期間が決まる)入場時の「半券」を応募用紙に貼り、送付。  
■応募締切/10/20 (ソ映)到着分  
■賞/特等：50万円相当70周年記念商品、1等：20万円相当、2等：5万円相当、ソ事實他多数

■前売りチケット販売・労働組合各支部にて発売中!  
・1枚1,500円(一般前売りの100円割引)  
★家族や友人など多数の前売りご購入・早期鑑賞をお願いします。  
<問合せ>  
(ソ映) 8-37-3421  
☎ 03-3289-7628



キャンペーン店頭告知用各種ツール

(協本)では「ペアチケットプレゼント」実施中

ビクター商品お買上げの方に  
抽選で5000組、1000名ご招待  
●営業本部では、期間中ビクター商品5万円以上お買上げの方に抽選でフィフス・エレメント「ペアチケットプレゼント」を実施しています。  
■期間：7/1~8/31  
(第1回締切8/1、第2回締切9/1)

## フィフス・エレメント

70周年  
記念作品

9月13日(土)<超拡大>ロードショー  
全国松竹・東急洋画系にて

「グラン・ブルー」「レオン」と全世界の若者たちの心をときめかしてきた今世紀最大の映像作家リュック・ベッソンが新たに挑んだ主題は人類の愛と観知をかけた未来へのメッセージである

舞台は、23世紀のニューヨーク 地球を破壊するのに十分なエネルギーをもった巨大な生命体が接近している。このままいくと地球と全面衝突し、地球が滅亡するかもしれないという危機を孕んだ中、もと連邦特殊部隊の隊員コーベン(ブルース・ウィリス)が運転するタクシーに正体不明の何か突然飛び込んできた。その瞬間、コーベンは地球存亡の鍵を握る大きな事件に巻き込まれる事になったのである

製作費100億を越え、SFXを全米SFX産業界の頂点に立つデジタル・ドメインが全面担当し、イギリス・バインウッド・スタジオ史上最大の舞台セットで撮影された超話題作である

主演は、ハリウッドきってのアクション・スター、ブルース・ウィリス。ベッソンとブルースの組み合わせで見るアクション・シーンは一体どこまで凄いのか。地球滅亡の混乱に乗じて陰謀を企むゾークに「レオン」以来ベッソンに惚れ込んだという個性派俳優ゲイリー・オールドマン 全ての鍵を握るヒロインには、トップモデルとして活躍中の新星ミラ・ジョウォウィッチが当たる

音楽を担当するのは、これまたベッソン映画には欠かせない才能であるエリック・セラ 彼の創作する未来のオペラは、映画音楽芸術の極致といってもよい衣装デザインがファッション界のスーパースター、ジャンポール・ゴルチエであることも大きな話題である

SFX総監修は、デジタル・ドメインで「アポロ13」を手がけたマーク・ステットソン 彼と彼の率いる総勢170名のスタッフが最新テクノロジーの粋を極めた映像を創り上げている

今年50周年を迎えた、5月7日のカンヌ国際映画祭の栄えあるオープニング作品として上映されたことから、「フィフス・エレメント」に寄せる世界の映画人たちの期待の大きさがうかがえ、このニュースが全世界に発信されたことで、今まさに「フィフス・エレメント」は地球規模の注目を集めている

既にアメリカ、フランスでは日本にさきかけ公開されているが、全米では2週連続NO.1、フランスでは公開5日間で156万人を動員する驚くべき大ヒットを記録している



リュック・ベッソン監督



1959年パリ生まれ。84年「サブウェイ」でセザール賞獲得。以来「グラン・ブルー」「ニキータ」「レオン」と次々に大ヒット。世界中の熱い支持を得ている。



<特集のページ>

●JVCグループ・インターネット・ホームページ●

<特集のページ>

グローバルに広がったインターネットは、Eメールをはじめビジネスや日常生活で幅広い活用が見られます。こうした中、ホームページはマルチメディア時代の広告メディアとして、さまざまな利用の仕方が活発化。ビクターのホームページも95年開設以来、次第に内容も充実してきており、一方、JVCグループでも独自のホームページを開設しているところも多く見られます。

そこで今回は、ビクターのホームページを中心にJVCグループ各社の現状も合わせてお知らせします。

(VE)サザンオールスターズのホームページ

コンサートやFM局リクエストも



【NAGISATV】サザンのコンサート ●8/8-9、浜名湖畔「渚園」で行われた大イベントの様子は「インターネット」と「映像128ワールド」で4日間にわたり中継。巨大ステージ設置の様子や、舞台裏など貴重な映像を発信。●さらにイベント当日に向けての注意事項や天気予報、質問コーナーなど、イベントに行くファンにとっても貴重な情報満載。舞台裏で撮影したものをその場ですぐ編集、アップという強行スケジュール。●単なるインターネットライブではない、情報番組的な新しい切り口のものになりました。多くのリクエストに応えて、8/20には再放送も行いました。

【JFL5局ネット・サザン電リク】 ●9/23の9:30から9時間特番で電話・FAX・インターネットでのリクエスト大特集。 ●この番組はJFL系5局をネットで結ぶ初の試みで、全国からリクエストが殺到。インターネットではサザンのオフィシャルホームページで募集し、900件余りの応募がありました。 ●13～17時はメンバー6人も生出演、10/21発売のニューアルバム「さくら」から数曲の新曲をオンエア。17時からはリクエスト集計を発表を行い、ホームページでも結果発表しました。

# グローバルに広がるJVCグループのホームページ

## 現状のビクターホームページは

http://www.jvc-victor.co.jp/



## マーケティング活動紹介 “早く、多く、安く、簡単” インターネットでユーザー調査

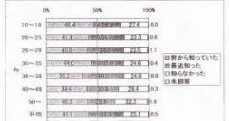
●ホームページを利用するユーザーからの情報収集は「スピード・量・コスト・集計の容易さ」という多くの面で優れています。そこで今年度から、マーケティング活動に活用しようという目的で、インターネット上で各種調査活動を行っています。 ◇W杯新聞広告のユーザー調査 ◇企業イメージ調査など

●9月の企業イメージ調査では1万件の回答があり、貴重な意見も寄せられました。これら多数の意見は、商品開発から販売まで、さらに企業イメージ向上にと活用できます。これからもマーケティングツールとして積極的な活用を進めていきます。

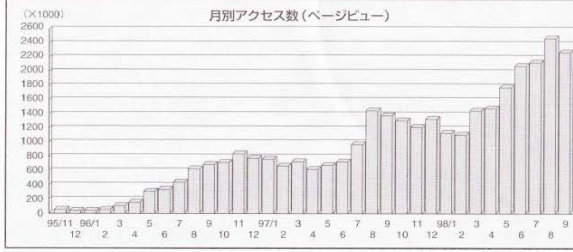
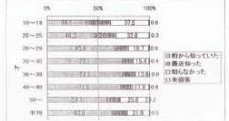
### ワールドカップスポンサー認知度

掲載紙	掲載日	調査期間	有効回答数
毎日新聞夕刊	10月18日(土)	8/13～8/18	1357名
読売新聞夕刊	10月20日(土)	8/20～8/26	612名
日経新聞朝刊	17月13日(月)	7/13～7/15	611名
3紙合計			2642名

Q1. 日本ビクターワールドカップの公式スポンサーである事をご存知でしたか?



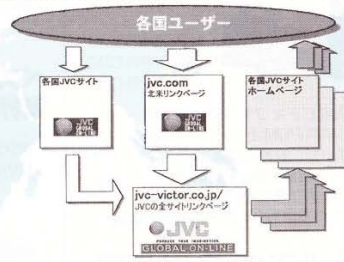
Q2. 「JVC」が日本ビクターの企業ブランドだと知っていましたか?



### アクセス数開設時の50倍

●現在のアクセス状況は、月200～240万ページビューで推移、95年10月開設時の50倍にもなっています。 ●ビクターホームページの特長は、①ハードとソフトの総合サイトとして、同業他社にはない「バラエティーに富んだ内容」。②“サザンオールスターズ”公式ページもあり、サザン関係だけでも月100万件を突破。

JVC グローバル オンラインによる各国ホームページへのハイパーリンク



## JVCグローバル・オンライン

JVCの见たい所をグローバルにネットサーフできます

●現在、国内はもとより海外でも13カ国、24の現法、代理店、関連会社がホームページを開設。こうしたJVCのホームページを見たいお客様が簡単にネットサーフ出来るよう、JVCサイトの「グローバルオンライン化」を図っています。 ●これは各国のサイトから、JVCグローバルオンラインのページにリンクを張っていただくと共に、グローバルページには各国のJVCホームページへリンクが張られています。 ●また最初にクリックされる可能性が高い「www.jvc.com」は、世界の入口の役割が大きく、そのためJVCグローバルページや北米のサイトへのリンクページとなっています。



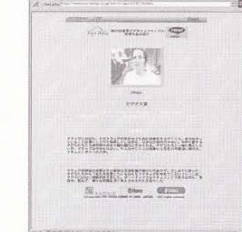
## この秋から リニューアル

トップページも“秋”になりました

●10/5から「トップページが秋のイメージ」に変わりました。(紅葉をイメージ) ●上期中は、W杯サッカーを中心に、情報公開として「業績報告」やV70社史をベースにした「70年の歩み」を新たに企画、発信。 ●この下期は、営業本部の年末商戦キャンペーン「デジタルスペースフェア」を大いに盛り上げる企画やさまざまな情報を発信していきます。

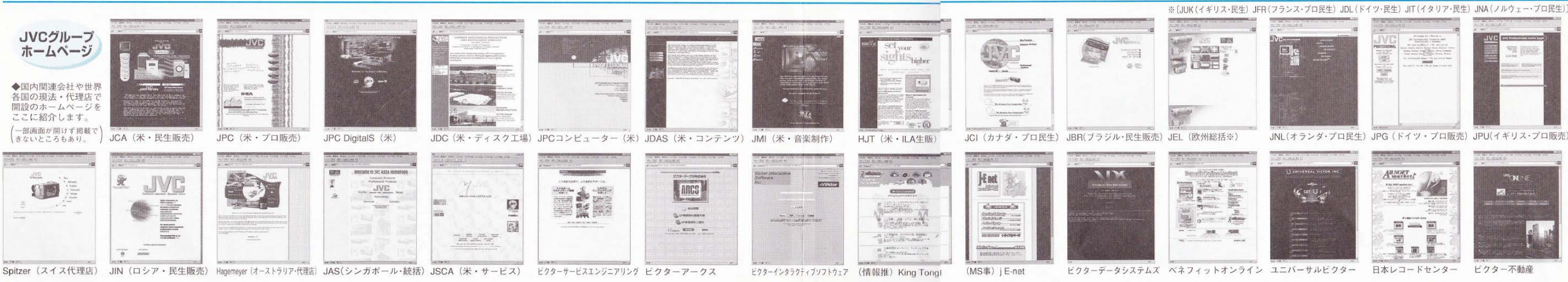
### ◆今後の予定◆

- ＜10月＞・トップページ “秋バージョン”
- ・エリシオン出展案内
- ・フラットTV8機種
- ＜11月＞
- ・環境への取組み
- ・年末商戦キャンペーン
- ＜12月＞・トップページ “冬バージョン”
- ・TVFノミネット作品



## ＜東京ビデオフェスティバル＞ライブや入賞作紹介

●東京ビデオフェスティバル(TVF)でもインターネットは大活躍。昨年からは発表会ライブ中継や作品紹介を行い、アクセス数も急増中。 ●最近では、海外からの応募要項請求や問い合わせにEメールが大活躍。応募者もEメールアドレス所有が多数、受発信も便利になりました。



ビクターニュース-27  
発行月日：1998年 H10.10.15  
発行NO.：629  
面(頁)：4-5

タイトル  
「グローバルに広がるJVCグループのホームページ」  
記事内容  
「ビクター、VE、海外現法各社のHP紹介、現状のアクセス数やリニューアルの概要」



## 4月から7つのカンパニー発足

### 経営改革の総仕上げ

2000年経営方針(1/25号)の中で明らかにされたように、攻めへの体制改革として4月1日付で「カンパニー制」を導入します。このたびカンパニーに移行するのは、国内事業本部の事業カンパニー4社と海外地域本部の地域カンパニー3社の計7社です。[右記参照。シ本、中国本は導入に向け検討中]

#### 次の成長へ向け全社的な体質強化を

デジタル&ネットワーク時代の中で、これらに対応した事業分野強化のためには従来の枠を超えた新たな組織運営・経営体制への転換が不可欠です。つまり責任ある意思決定とスピード経営による実行力が求められています。今回は経営改革の総仕上げであり、次の成長への全社的な体質改革としての狙いもあります。

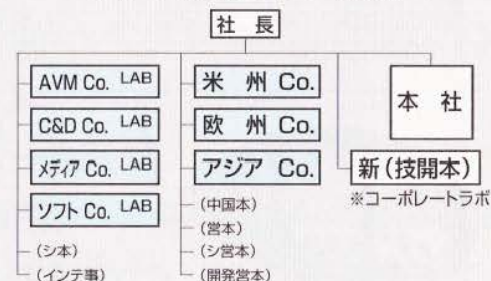
現在、当該事業部門や地域カンパニーでは大詰め準備作業が進められています。同時に本社及び本社関連部門では、グループ戦略や次世代事業推進のための機能見直し・スリム化を実行。研究開発体制では、事業化スピードアップと開発効率化に向け、「コーポレート・ラボ」としての(技開本)の体制見直しを行い、カンパニーが実行すべき開発テーマとリソースの移管を行ないます。

今回は、本社、カンパニーの責任・権限を中心に基本的考え方を右記にまとめましたが、●次回で「Q&A形式のカンパニー制」特集予定。

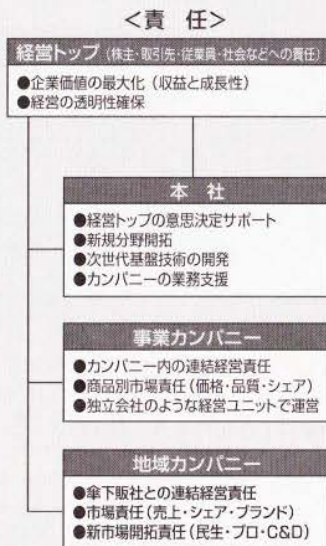
#### カンパニー制導入の狙い

- ①権限移譲と責任明確化
- ②強みと独自性発揮の体制
- ③顧客視点での「マ・開・生・販・CS」のトータル戦略

#### <4/1付 カンパニー組織>



#### 本社・カンパニーの責任・権限



#### <機能・権限>

- グループ経営の推進
  - コーポレートガバナンス [経営理念・方針の徹底/経営の仕組み改廃/経営体制の再編/経営情報インフラ/基幹人材の人事/経営監査/IR]
  - グループ戦略経営推進 [資源配分と分社間調整/事業再編/投資戦略/コーポレートR&D/全社プロジェクト推進/戦略的提携/ブランド戦略]
  - グループ連結事計管理 [全社・カンパニー中期・事計策定・承認/中期・事計進捗管理・支援]
- 新規事業分野の開拓
- 次世代基盤技術開発
- 機能別サービス責任 [専門的業務・情報の提供/業務を通じた事業支援]
- カンパニー事業推進 [事業の選択と集中/組織再編/カンパニー内人事権/経営資源配分/傘下事業所への示達・管理/投資権限]
- 地域戦略の推進 [市場の選択と集中/組織再編/地域版社の人事権/経営資源再配分/地域版社への示達・管理/投資権限]
- 関係会社の経営フォロー

目指せ！スピード経営

ビクター  
ニュース-  
28  
発行月日  
: 2000年  
H12.3.25

発行NO. :  
651

面(頁)  
: 1

タイトル  
「目指  
せ！ス  
ピー  
ド経営  
、4月  
から  
7つの  
カン  
パニ  
ー発  
足  
(国内  
4、海  
外3  
)」

記事内容  
「4.1  
より  
カン  
パニ  
ー制  
導入  
、組  
織と  
狙い  
、本  
社・  
カン  
パニ  
ーの  
責任  
・権  
限・  
機能」



1/29、横浜5ビルでAV評論家の麻倉怜士氏を招いて、「21世紀のビクターの進路」というテーマで講演会(主催:AVM-C)が行われました。この中で現状の課題が厳しく指摘され、謙虚な反省と共に今後の方向に有益な助言や激励がありました。[以下、概要を抜粋]



(AVM-C)の他に本社関係者も含め約60名が参加

麻倉怜士氏



1950年生まれ。横浜市立大卒。日本経済新聞社を経て、プレジデント社で雑誌プレジデント副編集長など歴任。91年、AV&M評論家として独立。専門誌など執筆、著書も多数。

#### ■業界の流れを敏感に、他社からも学べ

◇世界はここへ行く、3つのセントリック(中心トレンド)として、ネットワーク～ブロードバンドの流れ(送信技術/受信技術)②パッケージ～パッケージの流通(互換性)③デバイス～デバイスに付加価値つけるという流れ。

◇デジタルの2面性を考え、大量・普遍・均一に対する個性・違い・魅力をポイントに、幸せのデジタルを選択する。

◇他山の石～①AIWAの教訓(価格優先の政策)②パイオニアの評価(DVD-RWでフォーマット作り、スピードの威力、こだわりと志)③SONYに学ぶ(トップのリーダーシップ、横断組織の威力)④シャープのダイナミズム(デバイスを柱に展開、オーディオ再興、プロジェクター重視)⑤韓国

#### ■デジタル時代のキーワード

◇これからのデジタル時代は、「感動」と「便利」をいかに追求していくかがカギ。そのための注目すべき技術は、「圧縮」と「解凍」のインターフェース技術である。

#### ■今のビクターは、迷いがある

◇ビクターは今、ちょっと迷っているのではないか。特にここ数年間は骨太さが感じられず、新しい時代へのパラ

ダイム変化が形として見えてこない。

◇人々の最大限の感動を伝えるユーザーインターフェースが本当に出来るのは、ビクターとソニーだけ。特にビクターの強みは「人を感動させる力」があることで、ここを再認識し、ぜひ新しい価値を創り出して欲しい。

◇D&N時代のAVは、PCネットワークがAV化していく流れ。そこで差別化を考え、コンテンツ加工はクリエイターと一緒にやっていくなどして、再チャレンジを。

◇ビクターに期待することは、弱さ(ネットワークなど)を補強し、社内外での連携を強化。今までやってきたことを生かすと共に、新しい技術に積極的に取り組むこと。

### 麻倉怜士氏 講演会 「21世紀のビクターの進路」

## ビクターの強みは「人を感動させる力」

の開発力(世界初連発、液晶・PDP、DVD展開、徹底した物作り)

#### ■ビクターが抱える課題を直視せよ

◇自信不足(人も会社も)、古いイメージ、デザイン・品質の悪循環、新規分野に成長商品不足、提案少ない。

◇製品の問題～ビデオ・ムービーでリーダーシップ不足、ホームシアターの強化、テレビは画質の強みを生かせ。

◇なぜ、そうなったか?～延長の発想、メリハリをはっきり(ズルズルはダメ)、全てに保守的、殻から出ない、融合不発(社内外での連携が下手)、リーダーシップ見えない。

#### ■これから何をなすべきか

◇もし、ビクターがなくなったら?～画質・音質にこだわる

文化の喪失(文化をなくしてはいけない、社会的問題)、ユーザーの不幸(感動的な幸せが得られなくなる)

◇今後の課題は、モノ作りの復活、個人のこだわり、しなやかな発想、メーカーの誇り、製品・ブランドの魅力。情報力・情緒力で人間の本性に根ざしたモノ作りを。

◇ネットワークへの進出～外部/製品の接続、新提案

◇デバイス開発～D-ILAは試金石、新デジタルプロセス

#### ■2001年、デジタルAVの方向性

◇AVはITを求め、ITはAVを求める。(AV:クオリティ、IT:利便性にこだわり)、ITからETへ(Emotional Technology)、パッシブ(受信)からクリエイティブ(発信)へ。

[詳細の問合せ:AVM-CC(新橋)8-37-2270、03-3289-2810]

ビクターニュース-29

発行月日:2001年

H13.2.15

発行NO.:664

面(頁):2

タイトル

「麻倉怜士氏講演会 ビクターの強みは「人を感動させる力」」

記事内容

「1/29、21世紀のビクターの進路のテーマで現状の課題と今後の方向性を示唆」



## 新たな経営体制決まる

### 次期社長に寺田顧問が内定 守随社長は顧問に就任予定

4/26に開かれた取締役会で、次期社長に寺田顧問の就任及び新たな経営陣が内定し、同日午後3時30分より東京・丸の内のパレスホテルで記者会見が行われました。

また同取締役会で、2000年度の連結決算が承認され、同日午後、外部発表されました。併せて、次期社長を含む役員人事の内定も発表されました。

さらに決算の外部発表に続いて、同日午後4時から別会場で投資家向け決算IR説明会を開催。会田常務から2000年度決算概要と経営の現況及び今後の取り組みと2001年度業績見通しなど詳細な説明が行われました。

#### ■4/26の社長記者会見

4/26は各社の決算発表が相次ぐ中、当社の社長記者会見が新聞、業界誌、雑誌など各方面から約50名の記者を集めて行われました。冒頭、守随社長から今回の内定した役員人事、役員異動と若返りを図った新しい経営体制の紹介があり、続いて寺田顧問からは「与えられた使命を精一杯全うする所存です」と決意を込めた挨拶がありました。

その後の質疑では、多くの記者からさまざまな質問が出されました。守随社長に対しては、退任の決意や背景などについての質問があり、守随社長から「3期連続赤字や役職者早期退職など一連の人員削減に対する経営責任を感じ、退任を決意した。経営改革は道半ばながらも、全社員の努力で何とか黒字化の緒についた。これを機に新しい経営陣に道を譲り、またけじめをつけるという意味から、顧問に就任することにした」との話がありました。

また寺田顧問には、ビクターの印象や仕事の考え方などについての質問が出され、「昨年10月に顧問に就任し、松下との協業や創生21計画策定という2つのプロジェクト担当の責任者として取り組んできた。ビクターは新技術開発や独創性をDNAとして持っており、今後は部品やソフトも含め、これらの経営資源をシステム化すれば、バリューチェーンで収益につながるリズムが出てくると感じた」との話がありました。



4/26、記者会見する守随社長(左)と次期社長に内定の寺田顧問(右)



【寺田雅彦氏略歴】

- 昭19.11.7生/和歌山県出身/56才
- 昭44年:慶応大経済学部卒、松下電器株入社。その後、松下電池株を経て、松下電子工業株照明社社長
- 平11年:松下電器株理事
- 平12年:松下電器株参与  
日本ビクター顧問

#### ◆役員人事◆ (6/28付予定)

##### 1. 新任取締役候補者

- |       |   |
|-------|---|
| 寺田 雅彦 | (現 顧問 [当社 代表取締役社長に就任予定])                                      |
| 山口南海夫 | (現 松下電器産業株 システムソリューション事業本部 副本部長 事業担当 [当社 代表取締役専務取締役候補者に就任予定]) |
| 谷井 幸洋 | (現 監査役)   |
| 武藤 勝久 | (現 理事 AV&マルチメディアカンパニー グローバル事業推進部長)                            |
| 柏木 哲男 | (現 理事 コンポーネント&デバイスカンパニー 副社長 兼 同カンパニーサーキット事業部長)                |
| 藤澤 宏  | (現 理事メディアカンパニー 社長)  |
| 本田 豊晴 | (現 理事システムネットワーク事業本部長)   |

##### 2. 新任監査役候補者

- |       |  |
|-------|--|
| 喜志 房雄 | (現 取締役 IT事業推進室長 兼 環境担当)<br>なお、喜志氏は常勤の監査役に就任の予定。      |
| 堀野 二郎 | (現 松下電器産業株 AVC社 AVC R&DDグループ長) なお、堀野氏は非常勤の監査役に就任の予定。 |

##### 3. 退任予定取締役

- |            |   |
|------------|---|
| 代表取締役社長    | 守随 武雄 [当社 顧問に就任予定]                      |
| 代表取締役専務取締役 | 佐々木弘忠 [当社 顧問に就任予定]                      |
| 代表取締役専務取締役 | 清水 宏紀 [当社 顧問に就任予定]                      |
| 代表取締役常務取締役 | 海老 泰 [当社 参与株ビクター・データ・システムズ代表取締役社長に就任予定] |
| 取締役        | 喜志 房雄 [当社 監査役常勤に就任予定]                   |

##### 4. 退任予定監査役

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 監査役 (常勤)  | 星野 将 [当社 顧問に就任予定]   |
| 監査役 (非常勤) | 谷井 幸洋 [当社 取締役に就任予定] |

##### 5. 役付取締役選任内定

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 代表取締役専務取締役 | 山内 尚人 [現 代表取締役常務取締役] |
| 代表取締役専務取締役 | 高島 肇 [現 常務取締役]       |
| 常務取締役      | 土屋 栄一 [現 取締役]        |
| 常務取締役      | 土谷 繁晴 [現 取締役]        |

▶ これらの役員人事は6/28に開催される株主総会後の取締役会で正式に決定されます。



# 【追加】

## 高柳先生・高野さん

NO.	西暦	年 月 日	発行 NO.	面(頁)	タイトル
＜追加＞ 高柳先生関係					
1	1973	大和 S48.2	226	グラビア	「良い商品は良い人間が作る」 中国電視工業考察団も感心
2	1980	S55. 8.10	274	7	高柳先生をたたえ旧浜松高工(現静岡大学工学部)跡に記念碑
3	1986	S61.11. 1	401	6	経営者、大学教授のみなさんに高柳先生が講演
4	1987	S62. 8.10	416	1	高柳健次郎先生がアラバマ大学特別名誉教授に
5	2003	H15. 1. 9	688	4	テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語(NHK「プロジェクトX」収録)
6	2003	H15. 2.15	690	8	高柳イズムを見つめ直す絶好の機会！「燃える魂」序編の必読を

＜追加＞ 高野さん関係					
1	1974	S49. 2.16	123	1	「価値あるビデオに」業界初ビデオ紙合同記者会見 (高野(ビ事)長)
2	1979	S54.10.16	257	4-5	従来のカヲを超えた意識改革と構造改革、ビデオに新たな目標を
3	1992	H 4. 1.25	506	2	高野常任監査役が死去、VHSの事業化に不滅の功績
4	1992	H 4. 3. 1	508	2	VHSの父に最後のお別れ、高野常任監査役社葬に1400人
5	1992	H 4. 3.16	509	2	故・高野常任監査役に従五位勲3等瑞宝章授与
6	2000	H12. 3.25	651	4	「プロジェクトX」放送日4/4、執念の逆転劇・VHSビデオの誕生
7	2000	H12. 4.15	652	12	「プロジェクトX」大反響！速報 (社外/社内の視聴后感想)
8	2000	H12. 5.15	653	8	「プロジェクトX」大反響！続報(前号に続き)、ビクターファンになりました
9	2002	H14. 6.15	681	3	映画「陽はまた昇る」いよいよ6/15全国公開、感動の輪を拡げよう



●写真上は岩井工場のみなさんが見送る中を一行は帰路につきました。日中両国の小旗の波に、バスの中からいつでも手を振る姿が印象的でした

●写真下はかずかずの実験をとり入れてのが社技術説明会



「よい商品はよい人間がつくる」

— 岩井工場 —

中国電視工業考察団も感心

「よい商品は、よい職場環境と人間から生まれる」ことを目的とした人間形成プロジェクト・チームの活動は、視察団のみなさんにひじょうな関心をもたれました。





「工程上での品質のチェックポイントがはっきりしていますね。高品質の商品をつくっていることがわかります」——背の高い人が鄧国華団長



わが社独自の基板作成ラインはとくに注目を集め、高柳副社長の説明に、現物を手にとって熱心なまなざし

ひとつひとつ熱心にメモされ、するどい質問がとび出し、係員も緊張します

わが国のテレビ工業を視察のため、昨年の十一月二十九日に来日した中国電視工業考察団（テレビ工業視察団の意味）は、一月十二日にわが社のカラーテレビ事業部岩井工場を訪問、視察されました。

視察団のみなさんは、ほとんどが電子工業の技術者であり、生産設備や生産状況について係員にするどい質問をあげせる熱心なまなざしがあちこちでみられました。

とくに視察団を感心させたのは、岩井工場の人間形成プロジェクト・チームの活動ぶりでした。みなおし運動や職場の歌づくり、その他がはずの独自の活動が人間形成に大きな効果を上げていることを知って、視察団のみなさんは、「いろいろな工場を訪問したけれども、よい商品はよい人間がつくる」ということを説明してくれたのはピクチャーだけです」と感心されていました。

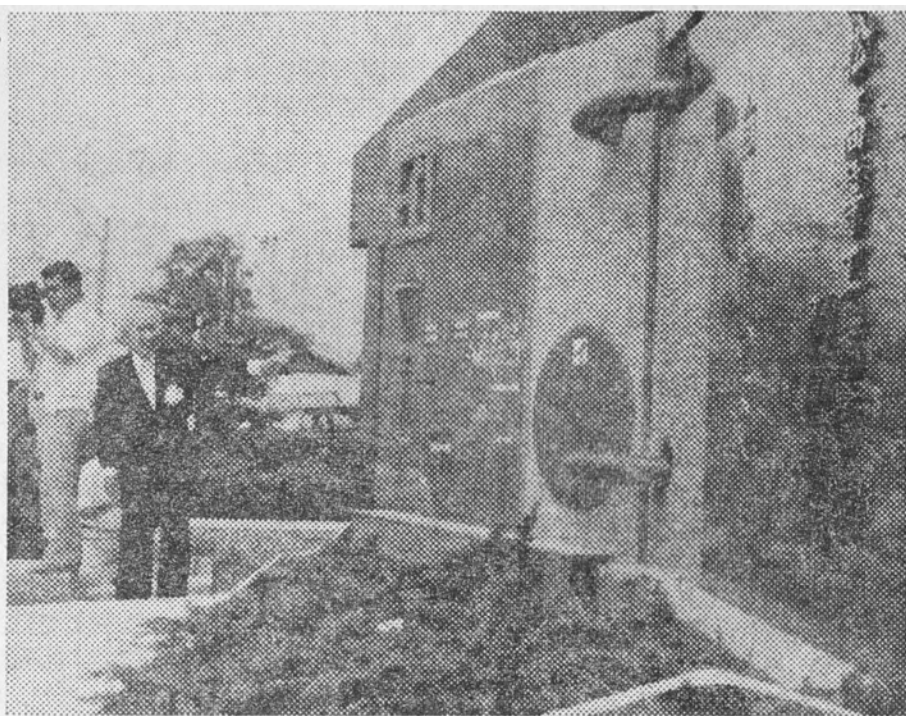
夕刻、帰路につかれたみなさんは、バスの中からいつまでも手をふり、岩井工場視察に好印象を残していただけたのでした（くわしくは「ピクチャー時報」1/16号に）。

工程説明は、日中英の三か国語です





写真は高柳先生と記念碑―撮影は（浜松営）渡辺所長



テレビの父

## 高柳先生をたたえ

### 旧浜松高工あとに記念碑

今から約五十年前、高柳健次郎先生とその研究グループが旧浜松高等工業学校（現静岡大学工学部）で日本で初めてブラウン管式テレビの送受信実験に成功しました。これを記念する碑の建立が同校関係者の手で、同校跡地の浜松市広沢一丁目、西部公民館に進められていましたが、このほど完成し、七

月七日、関係者多数が見守る中で高柳先生と栗原浜松市長、荻野浜松工業会会長の三人の手で除幕されました。

記念碑は高さ約二メートル、幅二・三メートル、厚さ約二十センチのみかげ石を二枚使用。同公民館前の庭にアルバムを広げたような形で建てられています。

その一枚には「テレビジョン発祥の地」の文字と実験に使われた回路図、初めてブラウン管に写し出された記念すべき「イ」の字が刻まれ、もう一枚には実験を成功させる土壌となった同校をたたえ「浜松高等工業学校開校の地」とその精神である「自由啓発」の字がくっきりと彫られています。

進取性に富むわが社の技術の源流である高柳健次郎先生にふさわしいモニュメントです。

高柳先生の話「このたび、みなさま方のおかげで、研究室のあった土地に立派な記念碑を建てていただきました。大変うれしく思います」

#### タイトル

「高柳先生をたたえ旧浜松高工（現静岡大学工学部）跡に記念碑」

#### 記事内容

「7/7、当時研究室だった現西部公民館に先生の功績たたえ記念碑建立」

高柳先生-2

発行月日

: 1980年 S55.8.10

発行NO.: 274

面(頁): 7



## 経営者、大学教授のみなさんに

# 高柳先生が講演

十月十四日、大学教授や実業家からなる実践経営学会の方々七十五人が大和の研究所を訪れ、わが社の技術最高顧問・高柳健次郎先生の講演を熱心に聴講され、つづいて行われたVHD/AHDのデモにも非常な関心を寄せられました。

この日、実践経営学会では午前中に横浜国立大学で全国大会を開催、そのあとバス二台に分乗して当社大和の研究所を訪問されました。

井上専務の歓迎のご挨拶と高柳先生のご紹介のあと高柳

先生が壇上に立たれ、準備された椅子も使われずに約一時間半にわたって熱のこもった講演をされました。

大正十二年フランスのポンチ絵に刺激されて苦労の末、大正十五年の末に世界で初めてブラウン管上に「イ」の字を映し出された時の感激、昭和五年の天覧の想い出や戦争による苦難の歴史など、常に逞しく燃えつづけるチャレンジ精神と謙虚な研究姿勢に、聴講の諸先生は深い感銘を受けられました。

また、つづいて行われた、(ソ事)長谷川制作部長によ

るVHD/AHDの最新のプログラム、立体VHD等のデモにわが社のAV技術の成果をたんのうされ、さいごには

高柳先生を囲んでの記念写真になごやかなひとときを過ごして帰途に着されました。

【(研本)有坂部長提供】



高柳先生が講演される

タイトル 「経営者、大学教授のみなさんに高柳先生が講演」

高柳先生-3  
発行月日：1986年 S61.11.1  
発行NO.：401 面(頁)：6

記事内容 「10/14、音研で実践経営学会75名に苦難の研究やチャレンジ精神を講演」





称号額を受ける高柳先生

# 高柳健次郎先生が

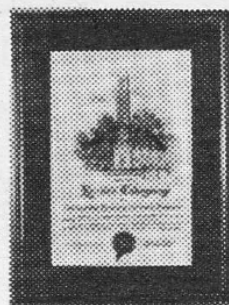
アラバ  
マ大学 特別名誉教授に

七月十四日、久里浜技術センターにある高柳記念ホールで、米国アラバマ州立大学より、高柳健次郎先生に特別名誉教授の称号を授与する式典が行なわれました。

冒頭、井上専務より百三十四年前の今日はペリリ提督がこの地に上陸して、日本の文

化の発展の基礎をひらいた日で、この記念すべき日に授与式が行なわれることは非常に意義深いことです」とあいさつがありました。

つづいて同大学を代表して副学長のM・ポルテラ博士から「この称号はグローバルソサエティの形成に貢献した人



称号額①と記念メダル



々にさしあげるものです。これからも、世界の国々の間に技術、科学、もしくはコミュニケーションの相互依存を実現するように努力して行きたい」と説明のあと、高柳先生に特別名誉教授の称号をあらわすJ・トーマス学長の署名を入れた称号額と記念メダルを贈られました。

授与のあと高柳先生は「百五十余年の歴史と伝統のあるアラバマ州立大学からこのような称号をいただいたことはまことに光栄です。ありがとうございます。みなさんのご支援にお応えするためにも今後とも研究をつづけて行きたい」とお礼のことは述べられました。

日本ビクターを代表して栄道会長から「このような称号をたまわりましたことは日本ビクターにとっても、名誉な

ことです。今年四月、タスカルーサ市に、ビデオテープとCDの工場が無事稼働できたことは地元のみなさんのご協力によるもので、この場をお借りして重ねて感謝する次第です」とのあいさつがありました。

アラバマ州立大学の特別名誉教授称号は世界の文化、社会に顕著な貢献をし、国際的な評価を受けている個人に同大学から贈られるもので、本年からスタート、年に一人を予定しており、高柳先生が最初の人になりました。称号授与の理由は「テレビおよび電子技術の発展における数々の功績が多く、技術者や科学者を勇気づけ、この分野の進歩に多大な貢献をしたことに対してささげるもの」としています。

## タイトル

「高柳健次郎先生がアラバマ大学特別名誉教授に」

## 記事内容

「久里浜高柳記念ホールで副学長より高柳先生に称号額、記念メダル授与」

高柳先生-4

発行月日

: 1987年 S62.8.10

発行NO.: 416

面(頁): 1



高柳先生-5  
発行月日：2003年 H15.1.9  
発行NO.：688  
面（頁）：4

タイトル  
「テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語（NHK「プロジェクトX」収録）」  
記事内容  
「宍道元社長他ゲスト出演者で12月中旬、NHKでスタジオ収録、1/28放映」

## テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語



▲ゲスト出演者左より宍道元社長、高柳理事長、  
元NHK放送技術研究所所長の藤尾孝氏

前号で紹介の通り、1/28放送のNHK「プロジェクトX」で、当社の元副社長である高柳健次郎先生を中心に、日本におけるテレビ放送の実現に向けて執念を燃やし続けた技術者達の物語が放送されます。その番組収録が12月に行われ、宍道元社長と高柳記念財団理事長がスタジオ出演し、当時の思い出を熱く語られました【写真左】。ぜひご覧下さい。



高柳健次郎先生 ▶

NHK総合テレビ「プロジェクトX 挑戦者たち」  
天才技術者 執念のメディア革命  
～テレビ放送開始に挑んだ技術者たち～（仮）  
放送日時 1/28（火）21:15～22:00  
（再放送 1/29（水）0:15～ 1:00）

※番組をご覧になった感想を（広）社内報までお寄せ下さい。

## 東京ビデオフェスティバル「TVF2003」

### 応募作品2386点と過去最高

世界38の国と地域から2386点（国内935、海外1451）の応募があり、過去最高を更新。ビデオカメラの急速な普及を背景に、中国、韓国などアジアからの応募が750強と急増。全体の約5割を高校生など10～20代が占め、IT時代を反映して映像表現技術の飛躍

的な向上が見られ、CGアニメ等が増加。約8割がパソコンでのノンリニア編集となっています。1/15に入賞作品100点を公表。ビデオ大賞など各賞の内容は、2/15（土）に東京・恵比寿「ザ・ガーデンホール」で行われる「発表・表彰式」で発表されます。

2/15（土）  
発表・表彰式開催



議論伯仲の最終審査会、前列手前より小林はくどう氏、椎名誠氏、羽仁進氏、佐藤博昭氏、清水顧問

同時掲載記事





「プロジェクトX」  
大反響！ 速報

1/28、NHK「プロジェクトX～執念のテレビ 技術者魂30年の闘い～」の放送後に、電話やメールなどで当社へ寄せられた一般の方からの感想を紹介します。

高柳先生-6

発行月日  
：2003年  
H15.2.15

発行NO.：690

面（頁）：8

## 発想の原点を受け継ぎさらなる開発を

●前のVHSに続き、とても良い内容でした。やはり、夢（製品）と、人々への思いを忘れずに、執着したからこそ、今でも感動を覚えるのだと思います。偉大な高柳先生の発想の原点を受け継いで、世の中のために、ビクターのさらなる開発を願います。（静岡県・技術者・男性）  
●高柳健次郎さんのことを番組ではじめて知りました。今の時代はビデオから

DVDの時代へと変わろうとしています。JVCにはこれから「時代に貢献する」企業として頑張りたいと思っています。（韓国駐在の日本人会社員）  
●大変感動しました。最後の方で、高柳氏の技術者に対する心得が書かれた額が提示され、ビジョン、勇気が必要と…。全文を教えてください。（三重県・男性）  
●高柳さんの情熱、戦後仲間たちを呼び

集めその夢を叶えたことに大変感動しました。今自分が何気なく使っている便利な物たちは、そんな人々の情熱の賜物なんだと思いました。（30代女性）

●高柳氏のプロジェクトリーダーとしての資質に驚愕しました。そして息子さんの表情から故人の人格が偲ばれ、少し涙ぐみもしました。（30代男性）

●大学で物理を専攻しているのですが、番組に出てくる技術者たちの話にはとても勇気付けられ、頑張ろうという気持ちになりました。（20代男性）

## 高柳イズムを見つめ直す絶好の機会！

### 75周年記念「燃える魂」序編（高柳健次郎先生に学ぶ）の必読を

◆上記のように「プロジェクトX」の放送によって、社内外で高柳先生についての大きな反響がありました。しかし若い年齢層には高柳先生が「テレビの父」という程度しか知られておらず、社内でも先生の苦労話や研究者としての考え方など、残念ながら意外と知られていません。

◆そうした実態を踏まえて昨年4月、75周年記念として発行した『燃える魂～先駆け技術への挑戦』には、“今こそ高柳イズムを学ぼう”という趣旨で、序編に「高柳健次郎先生に学ぶ」を掲載しました。既に配布済みの技術職の皆さんはもちろん、全社員がこの機会に「高柳イズムとは何か？」を今、改めて見つめ直してみませんか。

◆そこで、このたびイントラネット社内報「eVictorNews」の特集コーナーに「燃える魂～序編」の全文を掲載し、全員がいつでも読めるようにしました。その中には、小さい頃に教師から学んだこと、番組では紹介されなかった人口天才の

### 技術社員像

一 先づ自らビジョンをもつこと  
五十年前の技術者とは異なり、世の中には必要と見えないもの、クワイエットなものは少なく、先ず、彼等が関心する問題の解決を自ら求め、自らを鍛え、自らを磨く。新しい技術は勇気をもって採用すること  
二 基礎理論の理解を高め  
基礎理論の理解を深め、新しい技術の発展を促す。学問活動は、技術活動の基盤となる。多くの知識を蓄え、関連分野についても自ら学ぶこと  
三 複合的な技術が必要となる現在では、関連分野についても自ら学ぶこと  
四 一人の天才のひらめきより調和のとれた技術者集団の研究開発の成果は上る  
五 特許申請は積極的に提出しよう  
「目標に到達するまでの道は、常に挑戦的提出しよう。この道は、常に挑戦的提出しよう。」  
高柳健次郎

高柳先生は技術社員に対して1972年(昭和47)、「人口天才になるには」、1973年(昭和48)には「技術社員像」(写真)を配布されました

話、上記の技術社員像、そして今話題の「浜松ホトニクス」の社訓に生きる高柳イズムの紹介などが全17ページにまとめられています。あなたも是非一度ご覧ください。

タイトル  
「高柳イズムを見つめ  
直す絶好の機会！  
「燃える魂」序編の  
必読を」

記事内容  
「75周年記念「燃える魂」序編高柳先生紹介をPR、イントラ社内報にも掲載」



# 価値あるビデオに

## 業界初の ビデオ紙 合同の記者会見

さる二月十二日、パレスホテルで、ビデオ事業部が、ビデオ記者クラブ（十五紙、幹事代表・立石雄三氏）の記者をまねいて、合同記者会見をおこないました。

これは、ますます本格化するビデオ時代にそなえて各メーカーの現状と戦略を説明してほしいとの同記者クラブの要請にこたえて、ビデオ先発メーカーであるビクターがトップバッターとして催したものです。

この会見で、高野（ビ事）長は、三月二十一日から、一般電気店に拡売をお願いするむね、説明

したあと、「ビデオ関連の技術革新はめまぐるしいが、常にユーザー志向でいく」

「ビデオは単なる「テレビを録画するもの」に終わらず、もっと



高野（ビ事）長

利用価値の多さを訴えて、大きくビデオ産業確立のために努力したい」

「ビデオは、とかくテレビで左右されがちな生活のリズムを、とりもどし、ゆとりのある生活を提供する商品であり、もっとみなさんと共に考えていきたい」とあいさつしました。

つづいて「一般市販ルートへの戦略は」との問いにこたえて、野田（ビ管）長から「ビクターは四十六年、ビデオカセットを発表した当初から、業界に先がけて、家庭・志向を打ちだしており、今、特別な「手」を考えているわけではない」

「すでに、お客さまへの「ビデ

オの使いかた」までを含めたサービス体制に、業界初の「ビデオスクール」も確立しています。

ここではユーザーに最も近い位置にいる特約店さまのご意見をよくうかがいながらすすめたい」むね、説明がありました。

このあと、先に発表したポーター・カラーカメラに質問が集中し「昔の写真屋さんのようなビデオ撮影屋さん」、「カラービデオ結婚式」や「カラービデオ制作コンクール」など使い方の楽しいアイデアがとび出し、会見は約二時間半で終了しました。







# 高野<sup>常</sup>任監査役が死去

## VHSの事業化に不滅の功績

わが社の常任監査役で前 岡大学) 卒業後、日本光学 副社長の高野鎮雄さんが呼 吸不全のため、一月十九日 の末明に東京・信濃町の慶 応病院で亡くなりました。

わが社の常任監査役で前 岡大学) 卒業後、日本光学 副社長の高野鎮雄さんが呼 吸不全のため、一月十九日 の末明に東京・信濃町の慶 応病院で亡くなりました。

六十八歳。

16ミシネカメラなど精密 機器を手がけられ、四十五 年からVTR事業部長(の 浜松高等工業学校(現・静 ちビデオ事業部長)として

高野監査役は昭和十八年 年からVTR事業部長(の 浜松高等工業学校(現・静 ちビデオ事業部長)として

官賞、藍綬褒章も受けられ ました。また、ミスター

3/4チンVCRの生 産、VHSの開 発と事業化を指 導されて今日の

高野監査役の密葬は一月

二十一日、東京・芝の増上

寺会館でしめやかに執り行

われ、社内外から多数が参

列しました。なお、追って

社葬が行われる予定です。



高野常任監査役

タイトル

「高野常任監査役が死去、VHSの事業化に不滅の功績」

記事内容

「前副社長高野さんが東京都内の病院で死去、68才」

高野さん-3

発行月日

: 1992年 H4. 1. 25

発行NO.: 5061

面(頁): 2



# “VHSの父”に 最後のお別れ

高野 常  
任 監査役の社葬

千400人が遺徳しのぶ



一月十九日に死去された故・高野鎮雄常任監査役の社葬が、二月十八日午後一時より東京・港区の青山葬儀所で執り行われ、官界・業界をはじめお取引先、社内など約千四百人が偉大なVHSのリーダーに最後のお別れをしました。

社葬当日の朝は冷え冷えする曇天でしたが、昼すぎには日も射しておだやかな天気になりました。

お客さま、ご遺族、会社幹部が着席するやがて定刻の一時。上野常務の司会

で社葬式は始まりました。僧侶の読経がしめやかに流れる中、花に囲まれた祭壇からは遺影が「VHSの壇からは遺影が「VHSの親として家庭用ビデオの世

呼びかけ世界の規格に育て上げて、ソフト産業なども含む大きな事業を創造したことなど数々の功績を讃えました。

引導の儀に続いて葬儀委員長の垣本会長は「高野さん、とうとうあなたに最後の別れを申し述べる日を迎えてしまいました。いかに

定めとは申せ、痛切の極みであります。あなた

あなたとの六十八年間の貴い生涯をかえりみましてVHSの生みの親、育ての親として家庭用ビデオの世とをぬぎに語ることばで



松下電器・谷井社長

な姿勢で有力各社に参加を 榎橋祐治氏、友人代表の松下電器・谷井社長からも公

正無私を貫き電子産業の発展に尽くされた、ありし日の高野さんを追憶する心のこもった弔辞をいただきま

した。

しい事業部経 最大限の努力を注いでゆき 営の中、困難 ます。

をのり越えて さようなら、高野さん。 VHSを開発 天上界から、私どもの行く

し商品化を成 末をどうぞ見守ってください 功させたこ い」と結びました。(写真 と、オープン 上)

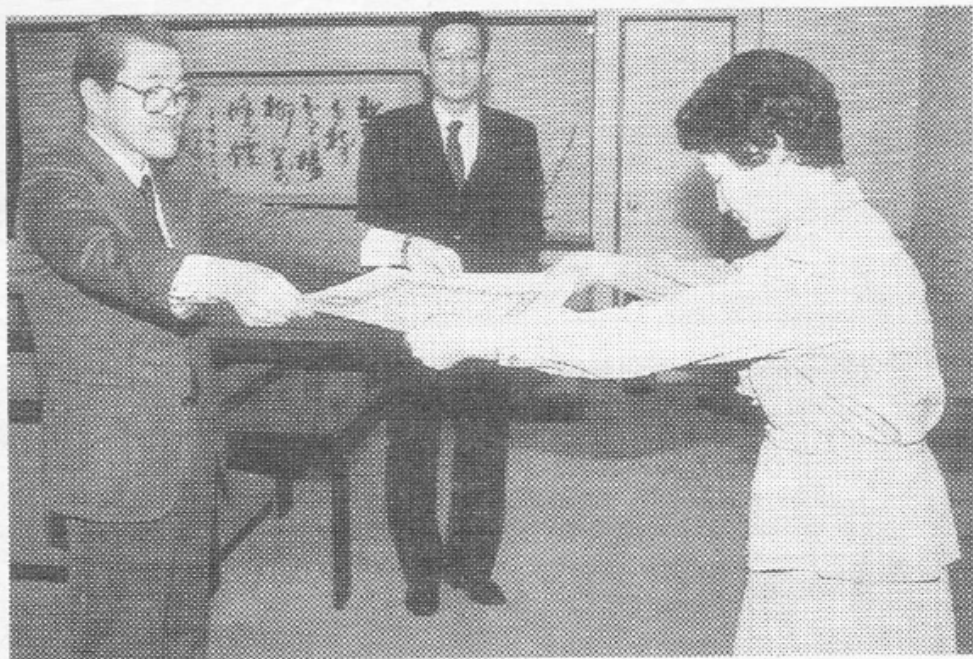


高野さん-4  
発行月日  
：1992年  
H4.3.1  
発行NO.：  
508  
面(頁)：  
2

タイトル  
「VHSの  
父に最後  
のお別れ、高  
野常任監査  
役社葬に  
1400人」

記事内容  
「2/18、  
青山葬儀所  
で高野さん  
社葬、各界  
から最後の  
別れ」





## 故・高野常任監査役に

# 従五位 勲三等 瑞宝章を授与

## 智恵子夫人が伝達受ける

一月十九日に死去された故・高野鎮雄常任監査役に対し、このほど叙位・叙勲が決定し、従五位勲三等瑞宝章が授与されました。

この伝達式が三月四日電が関の科学技術庁で行われ、智恵子夫人が同庁事務次官から勲記と勲章を受けました(写真)。

このたびの叙勲は、高

野常任監査役が約十五年にわたってVHSの開発

・育成と普及に精根を傾けられ、世界の標準規格として定着させてワールドワイドな電子産業・ソフト産業の興隆に多大の貢献をされた功績によるものです。

伝達式のあと、夫人は本社を訪れて坊上社長ら幹部にお世話になったお

礼を述べられ、また次のように話されました。

「ご承知のように細かいことは家では一切話さない頑固な主人でしたが、会社の皆様のお蔭で、叙勲の栄に浴することができました。

早速霊前に供え、喜んでもらうつもりです」

高野さん-5  
発行月日  
：1992年  
H4.3.16  
発行NO.：509  
面(頁)：2

タイトル  
「故・高野常任  
監査役に従五位  
勲三等瑞宝章授  
与」

記事内容  
「3/4、科学技術  
庁で伝達式が行  
われ智恵子夫人  
に授与」

NHK-TV新番組  
「プロジェクトX  
挑戦者たち」

▶ 放映日 4/4(火)  
21:15~22:00

## 小さな集団が大きな世界規格を

～執念の逆転劇・VHSビデオの誕生～

この新番組は熱い情熱と使命感に燃えて、戦後の画期的な事業を実現した日本人の「組織と群像の物語」。NHKの狙いは、「今は厳しい時代ながらも過去、世界をリードした先人達の偉業を振り返り、今後の自信につなげたい」という主旨。

4/4放送分は、日本人が初めて生み出した世界規格「VHS」。その快挙を成し遂げた高野鎮雄氏と開発プロジェクトにスポットを当てて取り上げられます。

当時の開発担当者等への取材、当社の各所で行なわれた収録を終え、遂に番組が完成。ビクター栄光のVHS物語が放送されます。社内各所が随所に登場します。

▶ なお、番組をご覧になった感想・意見を(広)社内報Gまでお寄せ下さい。



キャスターは、国井雅比古アナ(左)と久保純子アナ。

高野さん-6  
発行月日

: 2000年 H12.3.25

発行NO.: 651

面(頁): 4

### タイトル

「プロジェクトX」放送日4/4、執念の逆転劇・VHSビデオの誕生」

### 記事内容

「NHK-TV人気番組の第2回目放送は高野さん中心のVHS開発の感動ドラマ」



## 2002年W杯サッカーコーナー⑦



## 日韓の高速衛星通信実験に大画面ILAで協力



郵政省で行なわれた高速衛星通信実験の大画面スクリーンには、昨年8月の日韓サッカーOB戦の様子が写し出されました。

2002年日韓大会に向けて、サッカーの試合を日本と韓国の間でリアルタイムに高精細映像で伝送するための高速衛星通信の実証実験が郵政省で行なわれ、当社も全面的に協力。上映にはILAプロジェクターによる大型スクリーン(250インチ×3面相当)への投写が行なわれ、臨場感溢れる映像を提供しました。

同時  
掲載  
記事



高野さん-7

発行月日

: 2000年 H12.4.15

発行NO.: 652

面(頁): 12

## 「プロジェクトX」大反響！

速報

4/4、NHK「プロジェクトX」放映後、電話などで寄せられた一般の方からの感想や社内の反響を紹介します。

## 社外

## 大いに感動、涙があふれました

「感動した。生徒に『工業高校出身技術者の夢のあるエピソード』として話したい。」(工業高校教員・50代・女性)

「ビクターの経営理念に深く感動しました。すばらしい開発を今後も期待しています。」(OL・29才・女性)

「感激した。ビクターのビデオカメラを使っているのが親しみを持って見ることができた。」(60代・男性)

「大変感動した。自分も元技術者として、日本が生み出した技術が世界に普及していることが喜ばしく、誇らしい思いだった。自分はビクターファンなので、技術力の高さをもっとPRしてほしい。登場した技術者の方に『素晴らしい製品をありがとう』と伝えてほしい。」(元航空エンジニア・60代・男性)

「感動した」と放送終了直後に電話あり。(元オリンピック強化コーチ)

「いい話だった。HR-3300を持っているので必要なら寄付してもいい。今あるビクターの一番性能のいいビデオをすぐ購入したい。」(元西武鉄道取締役)

「感激して涙があふれてきた。ビクターを見直した。」(西武ドーム球場職員)

「今もまだHR-3300を使っている、ちゃんと映っている。このことを知らせたかった。」(60代・男性)

「明日から物を作ろうという意欲が湧いてきた。」(技術者・30代・男性)

「大いに感動、ちょっと涙でました。がんばって下さい。」(40代・男性)

「涙が出ました。ビクターの高野鎮雄さんの名前を一生忘れません。日本が世界に誇れるものがあることを知りました。」(60代・女性)

「朝から技術者の間で話題になっていた。最後のシーンは涙した(高野さんが亡くなって横浜工場をまわるところ。新人エンジニアにも見せたい)」(本田技研エンジニア・40代・男性)

## 社内

## 勇気を奮い立たせてくれた

「面白かった。人の顔の見える、会社の歴史のようなものが少し分かって良かった。今の厳しい時期、勇気を奮い起こさせてくれる良い内容でした。今の時代、これからどうつながっていくのだろう？見終わって、明日からがんばりたいと思いました。」(女性社員)

「身近な所が沢山出てきて、今自分が働いている所にもすごい歴史があったんだなあと思いました。今の社内にもこんな気合いが必要かも？」(20代・女性社員)

「良い企画だったが、時代はもうVTRから次の時代に移っている。みんな『昔のビクター』の話になってしまっていて、現在と直接結びつかないのが残念だ。」(40代・男性社員)

## タイトル

「「プロジェクトX」大反響！速報 (社外/社内の視聴後感想)」

## 記事内容

「4/4放送後、電話などで寄せられた社外/社外の感想や反響の一部紹介」

◆ごく一部を紹介しました。引き続き、皆さんからの感想をお待ちします。(広)社内報Gまで。

◆4/29深夜、25:05～再放送の予定です。



## 映画シーンにビクター商品ぞくぞく登場!



ダム制御室シーンにDVカメラや42型PDPが登場  
〈8/19～全国東宝画系にてロードショー〉

- ◆織田裕二主演のアクション超大作。巨大ダム爆破を通告したテロリストの要求は50億円。爆破阻止に一人の男が立ち向う…。
  - ◆夏公開の映画「ホワイต์アウト」の中にビクター商品がぞくぞくと登場します。
  - ◆警視庁・対策本部のシーンにD-ILAプロジェクター、ダム制御室のシーンにモニターと42型PDP、プロ用DVカメラなど。
  - ◆映画に写らないところでも機材協力をしており、民生・プロ合わせて約50商品が映画制作のために使われています。
- ※映画情報は<http://www.whiteout-movie.com>まで。

### 「プロジェクトX」 大反響! 続報

## ビクターファンになりました!

前号(4/15)に続き、NHK「プロジェクトX」の感想や大反響を紹介します。

「僕は大学で機械工学を専攻している者です。番組を見て、あっという間にビクターのファンになってしまいました。他社にない新しい物を創るということは、とても難しいことだと思いますが、諦めずにこれからもいい物を創り続けてください。「挫折のないところに進歩はない」ということを高野さんから学びました。ビクターさんに感謝しています。自分もどの会社かまでは決めていませんが、将来技術者になりたいと思っています。」(大学生・男性)

「番組を見て、ひとつ感動したことを思い出しました。5年ほど前のことです。父の思い出の品(VHS第一号機HR-

3300)が壊れて修理に出しました。そしたらちゃんと直って帰ってきました。しかも、隅々まできちんと掃除もしてくれていました。以来僕も父も絶対にビデオはビクターというようになりました。本当にユーザーの気持ちを大切にしているなということが伝わってきます。これからもユーザー本位のやりかたでがんばってください。」(20才・男性)

「NHKが、これ程1社だけ取上げて放送するのもめずらしい。ビクターにとって公共放送でPRをこれ程やった例は今までないことでしょう。史上最強の広報だと思います。シャープ、松下、三菱の各社がビクターをたたえていることもすごかった。」(映像制作プロデューサー・53才・男性)

高野さん-8  
発行月日  
: 2000年 H12.5.15  
発行NO.: 653  
面(頁): 8

タイトル  
「「プロジェクトX」大反響! 続報(前号に続き)、ビクターファンになりました」  
記事内容  
「前号に続いて掲載、続々と寄せられた感想や反響の中から一部を紹介」



同時  
掲載  
記事





# 窓際族が 世界規格を 作った

VHS・執念の逆転劇

おまけ

NHK出版のHPより転載

## VHS開発ストーリー 映画「陽はまた昇る」

## いよいよ6/15より全国公開 感動の輪を拡げよう!

映画「陽はまた昇る」が6/15、いよいよ全国東映系劇場でロードショー。当社の高野元副社長をモデルとし、社員たちのVHS開発物語、そして影でそれを支え続けた妻や子供達との家族愛を描いた感動ストーリーを、家族や友人など、より多くの方々に鑑賞いただけるように、全員の力で感動の輪を拡げましょう。

公開に先立ち、5/21に丸の内東映で行われた完成披露試写会の舞台挨拶で、主演の西田敏行さんは「自分で見ても4回泣きました。素晴らしい作品です」とアピール。映画を見た

方の反応も大変良く、東映がまとめたアンケートでは9割以上の方が満足。特に女性の満足度が非常に高くなっています。「人に感動を与える生き方をしたい」(50代女性)、「息子にも是非見せたい」(60代男性)など大好評。

また試写会に先立って、寺田社長より感謝の気持ちを込めて、西田敏行さんと渡辺 謙さんにDVCを贈呈。その後開かれた東映関係者や出演者らが出席した映画を大成功させる会」では、応援企業を代表して寺田社長が挨拶、興行成功に向け、最大限の協力を誓いました。



劇場前にはネクタイ姿のサラリーマンも多数



西田敏行さんら出演者の皆さんの舞台挨拶



社長より感謝の気持ちを込めてGR-DVP7贈呈



試写会後に行われた「陽はまた昇る」を大成功させる会。右から2人目は原作者の佐藤正明氏(「映像メディアの世紀」著者)

## 人文字エキストラの社員向け試写会も開催



土屋常務が舞台挨拶(伊勢佐木町) 大阪での試写会も大盛況

5/28、6/3には人文字に協力した(AVH)社員の試写会が、また6/8には大阪で松下電器の関係者などの試写会も開かれ、公開前から話題沸騰です。

## 国内営業では販促に積極活用!

## 試写会動員/デモソフト配布/内覧会でPR

国内営業本部では、映画公開を企業イメージアップにつなげ、販促としても活用しようとさまざまな活動を実施中です。

すでにA全判ポスター1万枚・チラシ20万枚・プロモーション用DVDソフト3千枚・割引券などを全国の特約店3000店に配布。また各所で開催の試写会へ有力店様を招待するなど、ビクターファン作りに積極的に取り組んでいます。

全国での合展やPDP&ホームシアター体験会でもデモソフト効果で、お客様へのPRはもとより、営業第一線の士気向上にも結びついており盛り上がりを見せています。

## チケット販売に一層のご協力を!

社員本人(1枚のみ)1000円  
本人以外(社外郵送)1200円

映画「陽はまた昇る」が6/15公開となり、グループ全社従業員の皆さんには社内チケット特別販売にご協力いただき、ありがとうございます。

この映画の大ヒットで興行的にも大成功させるべく、ご家族はもちろん、知人・友人、取引・関係先など1人でも多くの方へ吹聴いただき、一層の販売拡大のご協力をお願いいたします。

◆購入問合せ:(興産商事部)菅沼、高橋  
TEL 046-278-1975 詳細は興産ホームページで ◆締切:6/28(金)

高野さん-9  
発行月日  
: 2002  
年  
H14.6.15

発行NO.:  
681  
面(頁):  
3

タイトル  
「映画  
「陽はまた  
昇る」いよ  
いよ6/15  
全国公開、  
感動の輪  
を拡げよう」

記事内容  
「故高野  
元副社長  
がモデル  
のVHS開  
発ストーリー、  
感動の試  
写会風景」



## < 社内報アーカイブス・エポック関連 経営編 >

### ～ 編集後記 ～

このたび、社内報アーカイブスの資料提供及び記事編集を二人の共同作業でさせていただき、長い歴史の中の一部ではありますが、改めて日本ビクターの輝かしい足跡をしっかりと振り返ることが出来ました。

特に、人間性溢れる優れた経営者の方々の言動、世界に先駆けて新たな技術開発に日夜努力された社員の皆さんの姿、さらには大和一致を実践した素晴らしい人間集団の行動の数々など、そのすべてに新たな感動を覚えました。こうした誇るべき歴史と伝統ある日本ビクターが何故世の中から消えてしまったのかと思うと、本当に残念であり悔しい思いでいっぱいです。

7月から3回に分けて社内資料報アーカイブスを取りまとめてきました。振り返ってみると・・・

第1回（7月）高柳健次郎先生：31記事

第2回（8月）新技術開発・新規商品：55記事

第3回（9月）経営編：30記事、高柳先生・高野さん追加分：15記事

と、合計131件の記事を取めることができました。

経験された方はわかりでしょうが、印刷物から目的の範囲を傾かないようにスキャンし、画像切取、合成、編集という作業は、結構時間を要し精神の集中と神経を使う・・・肩の凝る作業が続きます。しかしながら、日本ビクター社史の後半40数年にわたる歩みを俯瞰するような楽しみを味わいつつ、かつ当時を思い起こしつつ、この作業に取り組むことができたことも事実です。願わくは昭和20年代～46年頃にかけてのビクター苦闘時代、再興時代の社内報に接する事ができたら・・・との想いも強く持ちました。

閑話休題、この「イ」の字HPに寄せられた数々の貴重な資料は、単に高柳先生の偉大な功績や教えに関するものにとどまらず、日本ビクターの歴史を語る大切な記録として後世に残すべき遺産でもあると思います。

最後に大変おこがましいですが、このHPで私達OBが昔を懐かしむだけでなく、現代を生き抜く後輩そして子や孫へもしっかり伝承して頂けたらと願っています。

2015年（H27）9月      西郷 治男  
清水 邦昭

# 付録 ～ 写真やカタログ ～

- ・ ビクターミュージックショウ : S41年
- ・ 懐かしい銀座のネオンサイン : S47年
- ・ 岩井工場カラーテレビ事業部 : S41年～
- ・ カラーテレビ C-5018 広告 : S47年
- ・ カラーテレビ新聞広告 : S48年
- ・ ラテカセ77 : S52年
- ・ カラカセ CX-50 : S55年
- ・ W-VHSハイビジョンシステム : H6年
- ・ 水戸工場の会社案内 : H4年
- ・ ビデオテープ新商品マニュアル  
(商談用) : H5年



# ビクターミュージックショウ グランドパレード (昭和41年6月)

於 東京伊勢丹ホール

会場前の行列  
(伊勢丹ホールの  
サインボードあり)



ニッパー

フランク永井



三浦洸一



田辺靖雄



中尾ミエ



青江三奈



場内は立ち見も



?

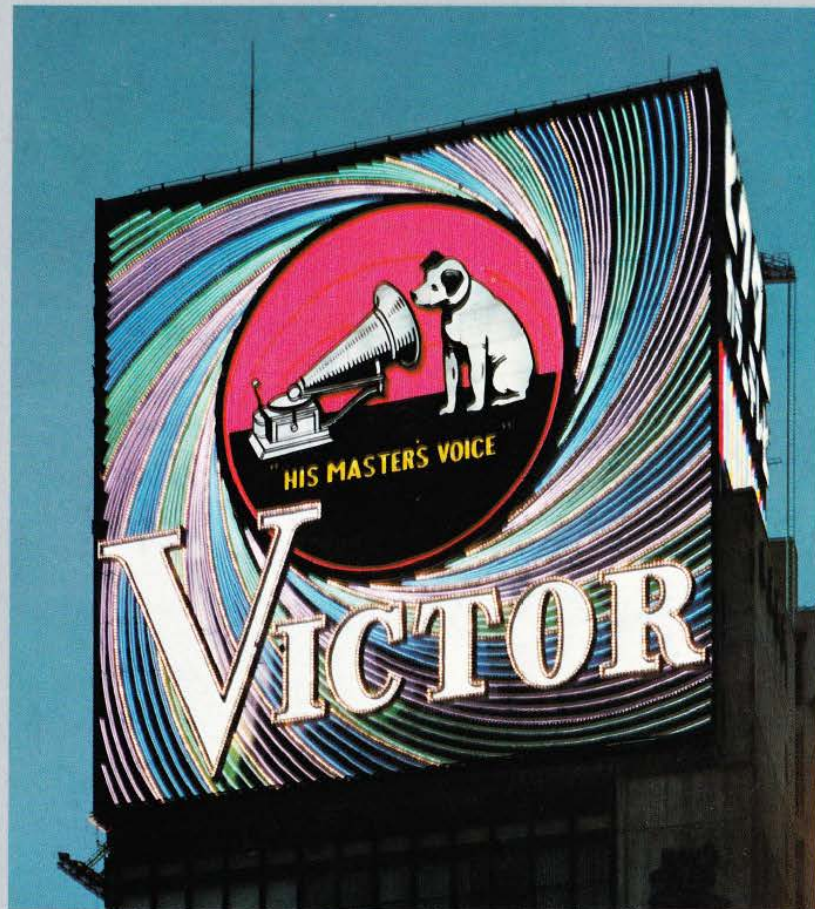


?



?





東京銀座にあるアドサイン（幅19m・高さ18m・マーク直径11m）

優れた技術で  
音と映像の世界を  
追求する——  
青年 **ビクター**

リクルート用会社案内より：1972年（昭和47年）当時のもの

（表紙） 懐かしい銀座のネオンサイン

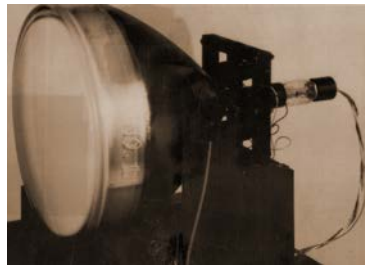


**岩井工場 カラーテレビ事業部  
第一期工事完成 本格操業開始**  
：1963年（昭和41年）8月

◆ 来年（2016年）は  
操業開始 50周年！



すべては  
ここから  
始まった！







↑ 初荷テレビを満載した、トラック車列

## 岩井工場 初荷式 : 1964年 (昭和42年) 1月4日

式次第  
一、開式 高柳専務取締役  
一、挨拶 営業部長  
一、宣誓  
一、乾杯  
一、ビクター万才  
一、閉式

昭和四十二年度スローガン  
生産性倍増の年  
ひとり一人の働き倍増



高柳専務





拡大



カラーテレビで明日の繁栄を勝ち取ろう！  
ビクターハイファイカラーテレビ  
大躍進運動実施中！  
昭和42年3月21日～42年9月20日

**岩井工場 カラーテレビ事業部**  
**ZD成果発表会** 昭和42年3月17日（1964年）

※ZD運動（zero defects movement）  
無欠点運動。従業員一人一人の自発性・熱意を喚起させ、  
創意工夫により仕事の欠陥をなくし、コストの低減、製  
品・サービスの向上を目的とする運動。







## 北野専務 岩井工場視察

昭和42年7月（1964年）

### QC会議

暑い中、窓を開け、扇風機  
で涼をとりながら、熱心な  
やりとり！





**VICTOR**  
AUDIO/VIDEO INNOVATOR



画像の明るさ

当社比

2倍

店頭で3分お時間をください。

なぜ2倍も明るいのでしょうか？

純白マトリックス管の採用と、ビクター開発の高輝度純白シャーシのはたらきにより、2倍の明るさを実現。明るい場所でも鮮やかなカラーは白けません。

- ビクター開発のシーンコントロール、ニュー・アパコンそして原色ドライブ方式の効果で輪郭のクッキリした、鮮やかな自然色を再現しました。
- A.P.Cオートシステムによりお子様でもワンタッチでベスト画像に調整ができます。

店頭3分間で、すべての良さがわかりいただけると存じます。見比べてお選び下さい。

リビングインテリア設計

ICトランススター18型 C-5018 (本体) 標準価格 131,000 円

(アンテナ工事費別)

別売り：飾りケース付き置台CFT-42型 4,500円



**ビクター 純白カラ**

カラーテレビ C-5018 1972年（昭和47年）発売：当時の株主用広報誌裏面  
※従来より明るさ2倍で自然な色を再現する「純白回路」を搭載した  
高輝度純白カラーテレビ

※色がきれいなことは勿論、テレビ事業部一体となって開発したV3シャーシで  
サービス性の良さは ビクターサービス でも好評だった。



# 目を疲れさせない技術です。 EEオート回路

EEオート回路 日本ビクターの画期的開発 (特許申請中)  
お部屋の明るさに応じて画面を自動調整する《EEオート回路》

お部屋の明るさが変わると  
目が疲れないように画面の  
明るさ、コントラスト、色の  
濃淡を自動的に調整する、  
《EEオート回路》。明るさが  
十分だからできたビクター  
独自の、会心の技術です。  
ぜひ、店頭でご覧ください。



- ①明るく、色鮮やかな映像です  
自然の色をより忠実に再現します。
  - ②回路技術がものをいう節電設計  
ムダな電気を使わないので長寿命
  - ③カラー選定のポイントは白  
3原色のバランスがよいからです。
  - ④ビクターならではの音響技術
  - ⑤品質、性能を高めたブロック基板
- ★テレビを楽しくご覧いただくために  
(高さ) 画面の高さは目の高さと同じか、低目に  
(角度) 角度は画面に向って正面か、30°以内に  
(距離) 距離は画面のタテ幅の約8倍が最適  
(場所) テレビの後に、窓やあかりがないように



EEオート回路採用の広角110°  
18型 C-5718E (※)  
標準価格 139,800円  
(アンテナ・工事費別)

別売り  
スピーカー付き置台 CFT-5718型……………15,500円  
デジタルタイマー CTK-20型……………4,400円  
※別売りケース付き置台(6,600円)も用意しました。



目をまもる自然な美しさ

**ビクター 純白カラー ビクトロンTV**

■今日の声に耳をかたむけ 明日の技術に生きるビクター

EEオート回路 日本ビクターの画期的開発 (特許申請中)  
お部屋の明るさに応じて画面を自動調整する《EEオート回路》

お部屋の明るさが変わると  
目が疲れないように画面の  
明るさ、コントラスト、色の  
濃淡を自動的に調整する、  
《EEオート回路》。明るさが  
十分だからできたビクター  
独自の、会心の技術です。  
ぜひ、店頭でご覧ください。



- ①明るく、色鮮やかな映像です  
自然の色をより忠実に再現します。
- ②回路技術がものをいう節電設計  
ムダな電気を使わないので長寿命
- ③カラー選定のポイントは白  
3原色のバランスがよいからです。
- ④ビクターならではの音響技術
- ⑤品質、性能を高めたブロック基板

★テレビを楽しくご覧いただくために  
(高さ) 画面の高さは目の高さと同じか、低目に  
(角度) 角度は画面に向って正面か、30°以内に  
(距離) 距離は画面のタテ幅の約8倍が最適  
(場所) テレビの後に、窓やあかりがないように

VICTOR ビクターローンシステム  
ローン (銀行ローン、ニッパパー  
Lプラン) をご利用くだ  
さい。ボーナス時増額返済も可能です。



EEオート回路採用の広角110°  
18型 C-5718E (※)  
標準価格 139,800円  
(アンテナ・工事費別)

別売り  
スピーカー付き置台 CFT-5718型……………15,500円  
デジタルタイマー CTK-20型……………4,400円  
※別売りケース付き置台(6,600円)も用意しました。

目をまもる自然な美しさ

**ビクター 純白カラー ビクトロンTV**

EEオートとは：

- (1) 部屋の明るさを検知するCdS光センサをカラーテレビに内蔵し、コントラストや色の濃淡を視覚特性に合わせて自動調整する新回路。
- (2) 省エネ化・夜間など暗い部屋では、ブラウン管のコントラストを下げるので消費電力の低減につながる。省エネ化の先鞭となった。

※産業技術史資料データベース (国立科学博物館) より抜粋



拡大

ビクター時報 1973年  
(S48.12.1) に掲載  
された広告

名機 C-5018 の後継機  
13枚基板標準化シャーシ (V3シャーシ)  
18 型カラーTV  
EEオート回路

## ◆ ビクトロンTVとは？

この頃、ビクターが開発した電子オルガン「ビクトロン」がヒットしていたので、そのネーミングを利用したようです。(ネーミングはテレビ技術ではなく、テレビ営業が考案、名付けていました)

EEオートは町田さんが開発され、昭和35年に白黒テレビに搭載されました。

初期のカラーテレビには搭載されていませんでしたが、この頃からカラーテレビに標準装備され、キャッチコピーとして使われました。



# 驚異の5バンド設計、4電源方式。狙った放送電波を鋭くキャッチします。



型名 **M-57**

標準価格 **67,800円**

## ラテカセ77



## 聞く・見る

1機に2つの機能をバック

ラジオ・テレビで、軽量・コンパクト。  
アクティブな男の情報メカです。

テレビは家の中で見るもの、という常識をM-5は打ち破りました。部屋の中に限らず、戸外でも、車の中でも楽しめます。海に、山に、キャンプに、釣りに、出かける場所へそのまま連れて行ける、持ち運び便利な行動派メカです。

5バンド、4電源方式。欲しい放送電波を、  
鋭敏にキャッチします。

ラジオはFM/MW/SWと3バンドから、テレビはVHFもUHFもと、お望みの電波がキャッチできます。しかも、家庭用電源のみならず、乾電池、充電式電池、カーバッテリーと4電源方式を採用。乾電池ひとつとっても視聴時間を飛躍的に改善、使い勝手の良さに徹しました。室内でのパーソナルメカとしてはもちろん、ドライブ、ハイキングなど屋外レジャーのパートナーとしても、幅広い使い方が楽しめます。

低消費電力設計の3型ブラウン管  
見せる技術もふんだんに採用しました。

行動派メカの条件は、まず軽量であること、そして電池で長時間見られるかどうか、の2点です。M-5は低消費電力設計のブラウン管を開発、当社5型テレビと比較して、視聴時間を約2倍、消費電力も減少、使用乾電池数も6本と少く、本体重量2.7kgと軽量化をも果たし、画期的アウトドアテレビとして、多方面からの注目を集めています。

操作しやすい、本格的テレスコピック  
FM/SW/TV-VHF/TV-UHF  
共用ロッドアンテナ採用

ビクター技術を駆使した、自質本位の設計。  
高感度・高選択度を誇っています。

12cm大口径メタルセンターキャップ高性能スピーカーによる忠実再生。高信頼性モノリシックIC採用のオールチャンネル電子同調式無接点チューナー、弱電界域、難視聴地域でも、安定した受信ができる、高感度・高選択度設計になっています。アウトドアライフの楽しみを大きく広げるM-5は、ボディも酷使に耐えるタフなつくりになっています。

### ●規格内容

テレビ受信チャンネル: VHF 1-12CH・UHF 13-62CH  
ラジオ受信周波数: FM 76-90MHz  
SW 3.9-12.0MHz  
MW 530-1,600kHz  
テレビ用チューナー: VHF/UHF電子同調式無接点チューナー  
受像管: 3型 40度偏角  
アンテナ: TV/FM/SW 回転式ロッドアンテナ  
SW/MW フェライトバーアンテナ  
半導体: IC3種、ランスタ-32型ダイオード47個  
スピーカー: メタルセンターキャップ付12cm丸型1個  
音出力: 実用最大1,000mW (EIAJ)  
使用電源: AC100V 50/60Hz  
単一乾電池6本・充電式電池(BP-001Z使用別売り)・カーバッテリー (AP-23Z使用別売り)  
消費電力: ラジオ時AC4.5W, DC2.0W (音声最大時)  
テレビ時AC10W, DC4.5W (音声最大時)  
外形寸法: (H)30.2×(W)25.1×(D)110.8cm  
重量: 2.7kg (本体のみ乾電池含まず)  
付属品: 単一乾電池6本・イヤホン・ワアアダプター・ACコード

※規格および外観は改善のため変更することがあります。

### 別売りアクセサリー

充電式電池 BP-001Z	12,000円
過光フッド TH-001Z	1,000円
オートプラグ AP-23Z (12V用)	1,000円
カーアンテナ AT-2	3,000円
キャリングケース TCB-M5	2,500円



標準価格 ..... **47,800円**

# M-5

5Band Radio-Television

ビクター時報-13「がんばれ ヨコヨコ (松野社長提唱「ヨコヨコ運動」の事例紹介)」に書かれている、白黒テレビ事業部商品「ラテカセ77」のカタログ : 昭和52年 (1977年) 発売

※「ラテカセ」の名称は「ラジオ・テレビ・カセット」の合成語で日本ビクターが命名した名称



「白黒テレビ+ラジオ+カセット」——この複合メカを日本で初めて開発したビクターがまた、新作を送りました。その名は「カラカセ50」。5型カラーテレビにラジオとカセットを搭載した、新しい1機3役メカです。しかも、室内だけでなく野外でも使用できる4電源方式。文字通りビクターのカラー技術、複合技術のすべてを結集した会心作。アウトドアにインドアに、行動のネットワークを拡げる、アクティブな男たちにふさわしいニューメカです。

カラーテレビ・ラジオ・カセット  
**カラカセ50**

カラーテレビで「見る・聞く・録る」——男たちに待望の1機3役メカ。

「カラカセ」カラーテレビ・ラジオ・カセット  
音声多重内蔵ステレオカラカセ CX-50  
：1980年（昭和55年）発売 ¥110,000-

5型55度偏向インライン・ドット管（横9.8cm 高7.3cm）  
本体重量4700g 消費電力AC28W/DC15W  
4電源方式：AC/充電池/カー電源/乾電池（単一10個）



# VICTOR Hi-Vision SYSTEM

1125本の走査線数を持つ高精細な映像、人の目に自然で見やすい、広い視野角30度の16:9画面、従来の約1/2の距離から見る事ができる最適視野距離3H(画面の高さの3倍)が生み出す臨場感……。

いちど触れば、人をとりこにせずにはおかないハイビジョンの圧倒的魅力を、より多くの人に、見て、録って、聞いて楽しんでもらうために、ビクターには、トータルにお届けできるものがあります。

## Wで広がるハイビジョンの世界。



Hi-Vision



（録ることで広がる、  
ハイビジョンの魅力、  
楽しみ方。）

毎日平均9時間のハイビジョン放送。あなたにも、録っておきたい番組がきっとあると思います。

スポーツ、コンサート、映画……。同じシーンもハイビジョン番組で接すると、美しさと臨場感、感動が違います。ハイビジョンテレビをお持ちの方なら、これまでも、録画しておきたかったプログラムがきっとあったにちがいありません。録画できないことを理由にハイビジョンテレビの購入を控えていた方も多いかも知れませんが、しかしこれからは、ハイビジョンは見て楽しむだけではなく、W-VHSの誕生が、驚きの映像の楽しみ方を何倍にも広げてくれます。



W VHS



本当の美しさをもっとあなたの近くに、エンターテインメント・ハイビジョンテレビ。

## Hi-Vision TV



### 新開発ハイビジョン技術

ハイビジョン映像の魅力をあまざり再現する

#### 新開発MUSEデコーダー

現行放送の約5倍もの情報量を持つ、ハイビジョン。高品位な映像を再現するには、現行放送の送信方式では不可能です。MUSE方式は、この画像情報を圧縮して送信。そして受信されたこの圧縮データを復元し、高品位なハイビジョン映像として再現するのが、MUSE



デコーダーです。当然、ハイビジョン映像のクオリティを左右する極めて重要な機能を果たすことになります。そこでビクターは独自にMUSEデコーダー用ICを開発。「ユニサンプリング方式」「分割型折返し妨害除去回路」「巡回型フィルター動き検出回路」などの新技術を搭載して、高精細なハイビジョンの魅力をあまざりなく再生します。

#### 家庭用ハイビジョン・ビデオ、W-VHSに対応

VHSのニューフォーマットとして登場した「W-VHS方式」に対応しています。W-VHSのために独立した端子を装備。ハイビジョン放送と現行放送を自動判別することによりW-VHSビデオカセットと連動しますから、接続の変更や入力切り換えなど、めんどろな操作をすることもなく、より手軽にハイビジョン放送や衛星放送、地上放送の録画・再生がおこなえます。

### ワイド画面高画質

色ノジミやチラツキの少ない自然な映像を再現する

#### 3次元Y/C分離回路

輝度(Y)信号と色(C)信号から構成されるコンポジット信号を高精度に分離。静止画像はもちろん、動画部分でのクロスカラーやドットなど妨害を大幅に低減して、衛星放送などを、色のノジミやチラツキの少ない高画質映像で再現します。

ノイズ成分を軽減し高画質映像を再現する

#### 3次元ノイズリダクション回路

3次元Y/C分離回路の採用にともなう、映像にふくまれるノイズ成分だけを軽減。画質の鮮明さを損なうことなく低ノイズの美しい映像を再現します。

#### あざやかな映像を再現する広帯域色復調回路

新開発の広帯域色復調回路によって、みずみずしい肌色やあざやかな緑はもちろん、微妙な赤の階調やディテールまで、さらに鮮明な映像で再現します。

自然で高品位なハイビジョン映像を再現する

#### 16:9ワイドフラットブラウン管

外光などの映り込みを軽減。ワイド画面のすみずみまで、ヒズミの少ない鮮明な映像で再現。

お手持ちのビデオでハイビジョン番組を録画できる高画質MUSE-NTSCコンバーター

ハイビジョン放送やビデオディスクからのMUSE信号を通常のNTSC信号に高画質変換する「折返し妨害除去回路」を採用。お手持ちのビデオなどで、手軽にハイビジョン番組が録画できます。また、フルモード録画されたハイビジョン番組を自動判別する「S1映像入力端子」により、テレビ画面の映像モードを16:9のフルモードに自動設定します。

### ワイド画面技術

いつもの番組がワイド画面で楽しめる

#### パノラマモード

ドラマは映画のように、スポーツ中継ならばまるでスタジアムにいるかのように。あらゆる映像ソースを、自然でしかも迫力あるワイド画面で楽しめます。

映画をワイド画面いっぱいに楽しめる

#### 字幕移動機能

横長のシネマスクリーン、ピタサイズの映画などを、16:9のワイド画面いっぱいに映し出す場合、画面の外にはみ出した字幕を、映像の中に移動。字幕の位置を自由に設定して、字幕が切れることなく、臨場感にあふれるワイド映像を楽しむことができます。

映画本来の美しさを追求した

#### シアターステータス

映画館のように、外部の余分な光をおさえた室内で映画本来の柔らかな色調の映像が楽しめます。また部屋の明るさを感じて、画面の明るさとコントラストを調整する「E.E.シアター」によって、長時間の映画も、目に優しい映像で楽しむことができます。

マルチ映像ソースをワイドに楽しむ

#### 子画面機能(PIP/POP)

親画面と子画面が同時に楽しめるPIPとPOPを搭載。BS放送を見ながら、同時に子画面では地上放送をチェックするなど、ワイド画面をフルに活用したさまざまなピクチャーモードが楽しめます。

### ハイビジョン高音質

高音質に立体感あふれる音場を再生する

#### 3-1方式4チャンネル・ステレオ放送

ハイビジョン番組のデジタル音声信号である3-1方式4チャンネル放送に対応。専用の音声出力端子を利用してオーディオアンプなどと接続することで、ワイド画面と一体の、立体感のある音場を作ります。

(HR-W1では3-1方式4チャンネル記録・再生はできませんが、W-VHS用として2チャンネルに変換された音声記録することが可能です。)

ワイド画面に合わせたパノラミックな臨場感音質

#### パノラマドーム

ワイド画面ならではの映像に合わせて、人を包み込むような臨場感を再現するのが、高音質ドームスピーカーユニットによる音場効果です。音域ごとに独立した2ウェイ・スピーカーと重低音用ボックスにより、高音から低音までスムーズに再生します。



### HV-32Z3

ハイビジョンテレビ HV-32Z3  
本体標準価格 850,000円(税別)  
(マルチセコンド付録/アンテナ工事費別)  
本体寸法/幅80.5×高さ53.1×奥行39.5cm 本体重量/68.0kg  
別売:パノラマスタンド RK-C32Z3 標準価格 50,000円(税別)

ハイビジョン対応。高密度記録メタルテープ、誕生。

## Hi-Vision W-VHS VIDEO CASSETTE



### 高性能メタルテープによる高帯域記録

情報量の多いハイビジョン信号を記録再生するために開発された、メタルテープによるW-VHSビデオカセット、WT-180HA/WT-120HA。新メタル磁性体の採用によって、より高い周波数帯域までをカバーして、W-VHSのHDモードでは高品位なハイビジョン映像の録画・再生を可能にし、またSDモードではS-VHSをしのぐ鮮やかで自然な高画質映像を長時間にわたって録画・再生します。

### 進化した新設計のカセットシェル

W-VHS専用カセットシェルでは、ガードパネル部に新開発のインナーリッドを設け、テープを前後から挟み込むダブルリッドの防塵設計を採用。これによって、テープを外部からのこみやキズから守り、ドロップアウトの低減を図りました。また、誤消去防止機能も録再時の簡便性を考慮して、従来のツメを折る方式を改めスライド式ツメを採用しています。

#### ●ご注意

- このビデオカセットはW-VHSビデオ専用のカセットです。必ず、W-VHSマークのついたビデオにご使用ください。
- このビデオカセットは従来のS-VHS/VHSマークのついたビデオには使用できません。無理に挿入しますとテープを傷つけたリビデオを破壊することがありますので、ご注意ください。



### W-T180HA W-T120HA

W-VHSビデオカセット  
WT-180HA(180分用) WT-120HA(120分用)  
¥5,900(税別) ¥4,900(税別)



# 最新のハイテク技術を駆使した、 研究開発とあくなき品質管理。

磁気製品の限りのない発展は理想を求め、夢を実現しようとする絶えまない研究・開発があつてこそ初めて可能となるのです。私たちは化学、物理学、電子工学、精密機械学などあらゆる産業分野に及ぶ基礎研究をはじめ、原材料の磁性体や高度な精密加工技術、徹底したFA生産技術といった専門分野まで、ハイテク技術を駆使した最新の研究設備を導入し、日夜努力を続けています。またVHS開発メーカーとして、日本ビクターのハード技術や総合研究所との連携により、将来の夢の製品づくりに積極的に取り組んでいます。さらにソフト

分野でも最高の音質・映像の追求に向け、ビクターの総合力をフルに発揮できる体制で研究・開発を進めています。一方、あらゆる製品はどこでも、いかなる条件下でも常に最良の特性が発揮できるよう、厳しい環境テストや磁気特性、走行特性、耐久性などの品質チェック、さらにデータ測定・分析に至るまで、徹底した品質管理体制を整えています。こうした前向きな姿勢に裏づけされてこそ、高品質で信頼性の高い製品に、自信が生まれてくるのです。



振動試料型磁力計(VSM) / 試料に特殊な振動を加えて磁気特性を精密に測定。



DATやフロッピーディスクなどデジタル信号の解析を行ない、高品質・高密度の製品づくりに反映。



X線微小解析(XMA) / 電子ビームにより試料から出てくるX線で定性解析、分散性などチェック。



フーリエ変換赤外分光光度計(FTIR) / 試料に赤外線を当てて定性分析、試料を微細に測定。



走査電子顕微鏡(SEM) / 電子ビームを試料の表面に当てて何万倍もの倍率で微細な現象を測定。



液体クロマトグラフ・GPC / 原材料の有機物分析やポリマー分子量分布を測定。



信頼性試験 / あらゆる温度・湿度条件のもとで何度もくり返しテスト。

# トータルな発想から生まれた、 独自の新鋭システム。

テープやフロッピーディスクなど高品質・高性能な磁気製品は、日本ビクター独自の生産システムによって生まれます。原反(生テープ)からパーツ製、アクセシブルなトータルな発想から生まれた各工段設備や自社開発の生産機械は、最新のコンピューター技術を駆使した集中管理システムでコントロールされています。このような新鋭生産システムと伝統の音と映像技術から生まれるブランクテープ & ソフトテープは、信頼のビクター/JVCブランドがつけられ全世界へ送り出されていきます。

を駆使した集中管理システムでコントロールされています。このような新鋭生産システムと伝統の音と映像技術から生まれるブランクテープ & ソフトテープは、信頼のビクター/JVCブランドがつけられ全世界へ送り出されていきます。

## ブランクテープ

ビデオテープ  
オーディオテープ  
フロッピーディスク

オーディオ・ビデオのブランクテープやフロッピーディスクはビクター・マグネティックス株式の工場で作られます。原材料からカセット・ハーフなどのプラスチック成型、組込み、包装工程に至るまで、最新のFA技術によって一貫した生産体制が確立されています。またハイクオリティな磁気製品にとては、シリ・ホコリをいっさい排除した理想の環境づくりが求められます。これにはクラス1,000以下のクリーン度で病院の手術室同様の清潔さを達成・維持しています。このような工程をへて出来あがったすべての製品は、一定の品質・規格が保たれているかどうか、細かな項目をもとにひとつひとつ厳しくチェックされます。このようなハイレベルな生産システムと厳格な品質管理体制があつてこそ、常に最高の品質と信頼性の高い製品づくりが実現できるのです。

## 原材料

磁気製品はすべて磁気ペイント(磁性体の塗料)が重要なポイントです。磁気ペイントの原材料としては、磁性粉、バインダー(磁性粉を固定する接着剤)、添加物、溶剤の4つの原材料が基本となります。



## ミキシング

磁気ペイントを作るには、まず4つの原材料(粉末と液体)をよく混ぜ合わせる必要があります。磁性粉の特性を充分引き出すには、ミクロン以下の粒子が均等に分散するまで、長時間かけてミキシングします。



## コーティング/カレンダーリング

できあがった磁気ペイントがベースフィルムに塗られる工程がコーティングです。次に磁性体を整列させる配向処理をへて乾燥され、カレンダー工程で磁性層の圧縮・表面処理が行われて高密度記録が可能な状態になります。



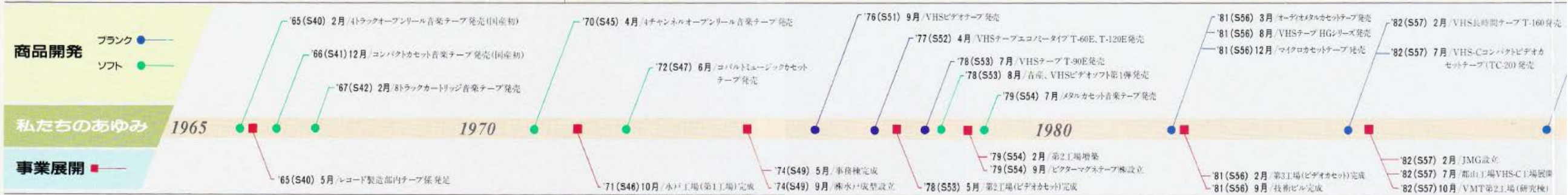
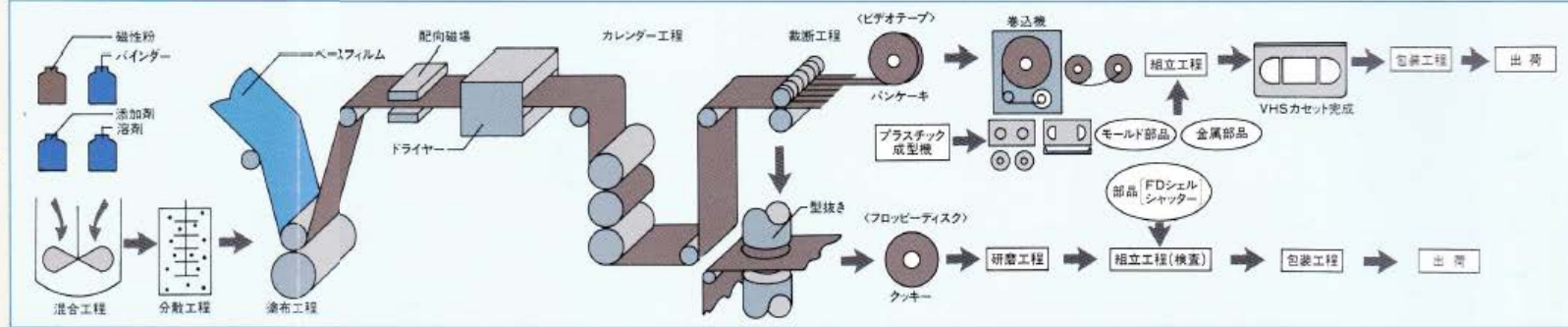
## スリッティング

磁性体が塗られた幅広状のフィルムは、ミクロン精度のスリッター(刃)で用途や種類に合った規格寸法にカットされ、細長いテープとなって円盤状に巻かれ、バンケーキと呼ばれる形になります。



## スペックチェック

バンケーキ状となったテープは電気特性や物理特性、磁気特性などが測定用コンピューターによって厳しくチェックされます。そして原反(生テープ)最終工程である梱包・出荷工程へと流れていきます。





## ダビング

オーディオソフトは、マスター再生機から再生されたオーディオ信号が高速ダビング機によって生テープ(パンケーキ)に何十倍ものスピードでコピー(ダビング)されます。ビデオソフトも独自開発のダビングシステムによって、一度に大量にダビングされます。このダビング工程でのビクターの技術力は業界トップクラスで、豊富な知識と長い経験に基づいた独自のノウハウが、AQシステム設備の設計・開発や品質管理体制に大きく反映されています。



## アセンブリー

オーディオ、ビデオ共にダビングのあと音質・映像の厳しいチェックが行われ、合格したものはオリジナルソースの時間・リレーションに応じた長さに自動的にカットされ、テープに組込まれます。



## バックアップ

カットテープに組込まれたオーディオ・ビデオテープは、各レベル貼りやケース入れなど最後の仕上げが行われ、包装・箱詰めされた後、直ちに物流センターを経由して各地へ配送されます。



## パーツモールド/アセンブリー

一方、カセットテープなどのプラスチック部品はコンピューター制御された成型機で精巧に作られ、ベネなどの金属部品も自動的に取り付けられます。次に、ワインダー(巻込機)によってパンケーキから一定の長さに1本ずつ巻き込みカットされたテープがカセットテープに組み込まれていきます。VHSもVHS-Cもこのようにパーツ成型からアセンブリーまですべての工程が自動化された一貫システムで作られています。



## バックアップ

テープが巻き込まれ、完成品の形となったテープは、ケースに入れられた後に、自動的に包装・箱詰めされ、いよいよ出荷となります。そして国内はもちろん、海を越えて世界の各地のお客様のもとへ届けられます。



## 先進の技術と設備で 世界に展開する工場。

日本ビクターの磁気製品は、日本、ドイツ、アメリカの3拠点で生産されています。磁気製品事業本部のある茨城県水戸市には総合工場(ソフト&ブランク)としての水戸工場、水戸から約30km南東には録画工場、ドイツのメンヘンラードバッハにあるJVCドイツ工場(JMG)、アメリカのアラバマ州タスカルーサにはJVCアメリカ工場(JMA)があります。これらの工場は最高の技術レベルと最新の設備によって結ばれ、市場に直結した生産・販売体制が世界に展開されています。



日本ビクター水戸工場/磁気製品事業本部



ビクターマグネティックス水戸工場



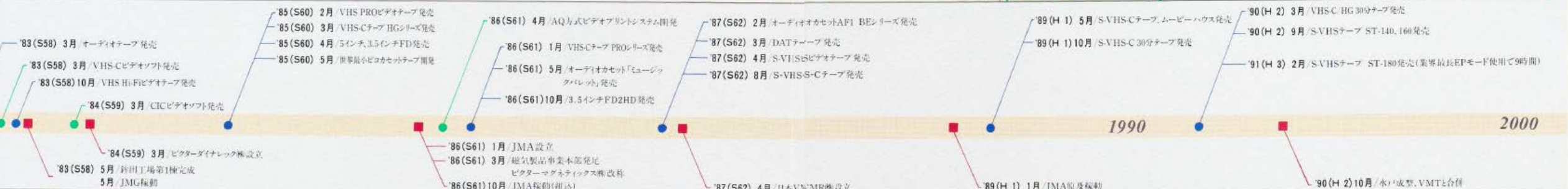
ビクターマグネティックス水戸工場



JVCマグネティックスヨーロッパGmbH(JMG)



JVCマグネティックスアメリカCO.(JMA)

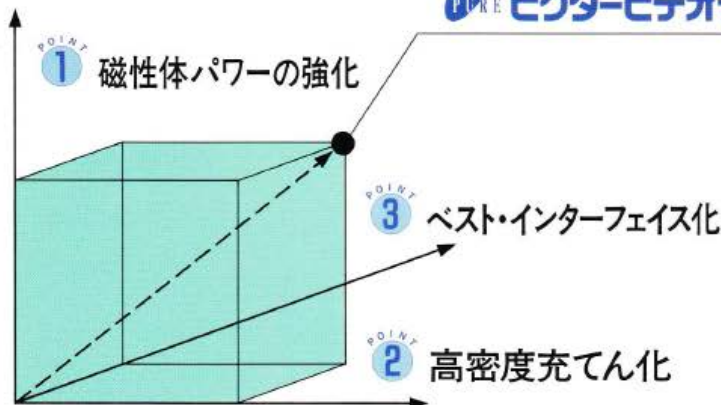




# ビクターはプロが認めた高技術力で ユーザーニーズに応えます。

TOUGH  
&  
PURE

TOUGH & PURE NEW  
ビクタービデオテープ



「磁性体パワーの強化」×「高密度充てん化」×「ベスト・インターフェイス化」ビクターは、この3つの方向性をバランスよく保ちながら技術を開発。その成果は、プロにも高く評価されています。今回、この技術力を投入してフルモデルチェンジ。「タフなだけじゃない、こんなキレイなテープが欲しかった。」お客様に、そう言われるにふさわしいビデオテープが完成しました。

## POINT 1 磁性体パワーの強化

【リファイン・スーパー・コバルト・マグネタイト磁性体】

Limited / XZ / XG

【リファイン・コバルト・マグネタイト磁性体】HG / AV

コバルト・マグネタイト磁性体を細部にわたってリファイン。磁性体の大きさを均一化し、またコバルト・フェライト層に加え、新コーティング層を開発。バインダとの親和力が向上し、より強固な磁性層が形成され、質感のある映像、ビュアな音を実現しました。



リファイン・スーパー・コバルト・マグネタイト磁性体 概念図

リファイン・コバルト・マグネタイト磁性体 概念図

## POINT 2 高密度充てん化

【パワーカレンダー】

Limited / XZ

新カレンダーロールはテープへの接触面積を小さくすることにより、単位面積当りの圧力をアップし、リファイン・コバルト・マグネタイト磁性体を破壊することなくギッシリと詰め込みました。



パワーカレンダー 概念図

【マルチ・リニア・オリエンテーション】

Limited / XZ / XG / HG

ひとつひとつの磁性体を規則正しく一定方向に配列するマルチ・リニア・オリエンテーション（多段直線配向）技術を採用。高密度充てん効果と併せて、さらに高出力・低ノイズ化を実現しました。



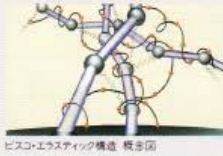
マルチ・リニア・オリエンテーション 概念図

## POINT 3 ベスト・インターフェイス化

【ビスコ・エラストイック構造バインダ】

Limited / XZ

テープとヘッドとのコンタクトを十分に保つために開発された新構造は、強い衝撃にはすばやい強靱性を、緩やかな衝撃にはしなやかな粘性を発揮。情報を余すことなくキャッチします。



ビスコ・エラストイック構造 概念図

【タフ UDD バインダ】

HG / AV

磁性体同士をガッチリ結合させるとともに、磁性体のベースフィルムへの確実な接着を実現。磁性層の高剛性化と併せてしなやかさを両立し、高耐久性と安定走行性を実現しました。



タフ UDD バインダ 概念図

### 3本柱のSS理論 (Sensitive Science)

最終的に緻密な画質、ふよやかな音質を得るための手段や目的を体系化したビクター独自の磁性層形成理論です。「よりパワフルな素材をより効率よくテープ化」するための複合技術力が示されています。

### ● スーパーパワー指数 (当社比)

603  
×10<sup>3</sup>

スーパーパワー指数 =  $\sigma S \times \frac{1}{\text{磁性体体積}} \times \text{充てん率}$

パワーのある磁性体が、テープにどれだけ詰め込まれているかを明確にしました。指数が大きい程、ハイパワーなテープです。



# 高画質時代をリードするのは、タフ&ピュアのビクターです。

**スーパーVHSの最高峰。**

プロの編集、保存マスターに。

**editing master LIMITED**

プロが選んだ  
グランプリ  
受賞

ST-120EMC ¥3,000 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

**いつまでも美しい、パワフル画質。**

大切なTV番組の保存に。

**HG**

**TOUGH POWER**

120

3パック

価格表:

T-180HGC	¥1,850 (税別)
T-160HGC	¥1,390 (税別)
T-140HGC	¥1,180 (税別)
T-120HGC	¥980 (税別)
T-90HGC	¥960 (税別)
T-60HGC	¥900 (税別)
T-30HGC	¥780 (税別)
T-20HGC	¥740 (税別)
2T-120HGC	¥1,920 (税別)
3T-120HGC	¥2,880 (税別)
5T-120HGC	¥4,800 (税別)
2T-160HGC	¥2,740 (税別)
2T-180HGC	¥3,660 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

**質感、奥行感で差がわかる高品位画質。**

高純度のダビングマスター、ソフトづくりに。

**XZ**

ST-180XZC ¥2,500 (税別)  
ST-120XZC ¥1,250 (税別)  
2ST-120XZC ¥2,460 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

**何度くり返しても強い、タフ画質。**

気軽な使い回し、重ね録りに。

**AV**

**TOUGH REPEAT**

120

3パック

価格表:

T-160AVC	¥1,210 (税別)
T-140AVC	¥1,000 (税別)
T-120AVC	¥810 (税別)
T-60AVC	¥780 (税別)
T-30AVC	¥680 (税別)
2T-120AVC	¥1,580 (税別)
3T-120AVC	¥2,370 (税別)
5T-120AVC	¥3,950 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

**3倍モードがキレイな高画質設計。**

3倍モード・長時間番組の録画に。

**XG**

**TOUGH POWER**

120

3パック

価格表:

ST-180XGC	¥2,200 (税別)
ST-160XGC	¥1,650 (税別)
ST-140XGC	¥1,500 (税別)
ST-120XGC	¥1,100 (税別)
ST-60XGC	¥1,000 (税別)
2ST-120XGC	¥2,160 (税別)
3ST-120XGC	¥3,240 (税別)
2ST-180XGC	¥4,360 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

'93年 TECHNOLOGY-一覧

	Limited	XZ	XG	HG	AV
磁性体技術	リファイン・スーパー・コバルト・マグネタイト			リファイン・コバルト・マグネタイト	
バイブレーション・コントロール・システム	●高制振性カセット ●VTスプリング				
磁性層形成理論	SS理論 (Sensitive Science)				
バインダ技術	ビスコ・エラスティック構造バインダ		NEW S-UDD バインダ	タフ UDD バインダ	
高密度充てん技術	パワーカレンダー				
分散技術	VCプロセス+SDS	SDS		ODS	HDS
配向技術	マルチ・リニア・オリエンテーション (多段直線配向)				
ベースフィルム	S-UDR		S-SDR	SDR	
表面平滑化技術	アクティブ・ミラー・サーフィス		アクティブ・サーフィス		
カセットハーフ	世界初2層構造ハーフ		高精度RXハーフ		